

SHARP

プロジェクター

ViewLight[®]

形名 **XP-P721Q-W/XP-P601Q-W**

取扱説明書

HDMI[®]

UHD BT³
ASE

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に「安全にお使いいただくために」(5 ページ) を必ずお読みください。

もくじ

はじめに	4
安全にお使いいただくために	5
本書の表記について	22
1. 製品概要、添付品、名称を確認する	23
1-1. 特長	23
1-2. 添付品の確認	25
1-3. 本体各部の名称	26
1-4. リモコン各部の名称	32
2. 映像を投写する（基本操作）	38
2-1. 映像を投写する流れ	38
2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する	39
2-3. 本機の電源を入れる	41
2-4. 入力信号を選択する	44
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	45
2-6. 本機の音量を調整する	51
2-7. 本機の電源を切る	52
2-8. 移動するときは	53
3. 便利な機能	54
3-1. 投写光を消灯する（シャッター）	54
3-2. オンスクリーン表示を消去する（オンスクリーンミュート）	54
3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大）	55
3-4. 輝度（明るさ）を調整する	56
3-5. 台形歪みを調整する（台形補正）	57
4. オンスクリーンメニュー	60
4-1. オンスクリーンメニューの基本操作	60
4-2. オンスクリーンメニュー一覧	63
4-3. 映像	70
4-4. ディスプレイ	76
4-5. 通信	81
4-6. システム	84
4-7. 情報	91
4-8. 言語	92

5. 機器と接続する	93
5-1. コンピューターや映像機器と接続する	93
5-2. 有線 LAN と接続する	94
5-3. HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続する	95
6. ネットワークに接続する	96
6-1. ネットワークに接続してできること	96
6-2. 本機の HTTP サーバーに接続する	96
6-3. スケジュール機能を使う	105
7. 本体のお手入れ	110
7-1. レンズの清掃	110
7-2. キャビネットの清掃	111
8. 付 録	112
8-1. 投写距離とスクリーンサイズ	112
8-2. 対応解像度一覧	117
8-3. 仕様	119
8-4. 外観図	121
8-5. インジケータ表示一覧	122
8-6. 故障かな？と思ったら	124
8-7. トラブルチェックシート	129
アフターサービスについて	131
使いかたのご相談など／修理のご相談など	裏表紙

はじめに

このたびは、プロジェクター（本機）をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
本機は、コンピューターやブルーレイプレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

● 本書で説明している機種名

XP-P721Q-W

XP-P601Q-W

[注意]

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
 - (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
 - (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
 - (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-

2025 年 10 月 2 版

シャープ株式会社の許可なく複製・改変などはできません。

安全にお使いいただくために

レーザー光線について

クラス1 レーザー製品



警告

- 本製品は、レーザー製品の安全基準 JIS C 6802:2018、および IEC 60825-1:2014 においてクラス1に分類されています。
- 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。

【内蔵しているレーザーの概要】

- ・ 波長： 455 nm
- ・ 最大出力：216 W

リスクグループについて



警告

- 本製品は、IEC 62471-5:2015 規格でリスクグループ2 (RG2) に分類されています。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

電波障害に関する注意事項

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

警告：本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

プロジェクターに接続する信号ケーブルは、シールドタイプを使用してください。それ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。詳しくは、本書の「5. 機器と接続する」をご覧ください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の財産に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



プロジェクターの投写光について

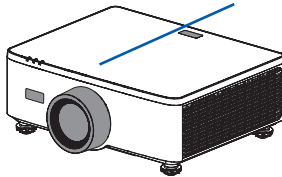
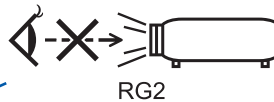
投写光と本体の表示

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
動作中は強い光が投写されていますので、視力障害の原因となります。またレンズ近くでのレーザー光への露光は、やけどを引き起こす可能性があります。特にお子様には注意してください。
- 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないでください。視力障害の原因になります。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。
- お子様に一人でプロジェクターを操作させないでください。お子様が操作する場合は、必ず大人が付き添い、お子様から目を離さないでください。
- レンズの上のプロジェクター上面に、次ののぞきこみ禁止を表す図記号を表示しています。

この図記号は、このプロジェクターが IEC 62471-5:2015 規格でリスクグループ 2 に分類されていることを示しています。



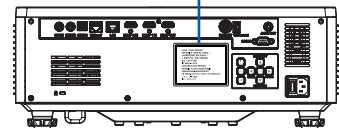
禁止



明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。

RG2 IEC 62471-5:2015.

- プロジェクター本体に次のラベルを貼付しています。
【レーザー説明ラベル】





電源について



国内専用

プロジェクターは日本国内専用です

- このプロジェクターと添付の電源コードは国内使用専用です。
- 日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではお受けできません。

This product is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.



必ず行う

正しい電源電圧で使用する

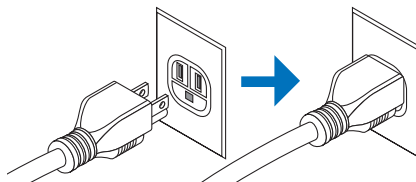
- このプロジェクターは、交流 100 ボルト、50/60Hz の電源で使用するよう設計されています。プロジェクターを使用する前に、プロジェクターを接続する電源が要求を満たすものかを確認してください。
- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。危険ですので直接電灯線に接続しないでください。



アース線を
接続せよ

アース端子を接続する

- 本機は電源コードのアース端子をアースに接続することを前提に設計されている 3 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3 芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。
2 芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。詳細は [39 ページ](#)をご覧ください。
- プロジェクターとコンピューター（信号源）は必ず同じアースに接続してください。
プロジェクターとコンピューター（信号源）を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。
- アース工事は専門業者にご依頼ください。





警告



禁止



感電注意



ぬれた手で
さわらない

電源コードの取り扱い

- このプロジェクターに添付している電源コードは、このプロジェクター専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
 - コードの上に重い物をのせない
 - コードをプロジェクターの下敷きしない
 - コードの上を敷物などで覆わない
 - コードを傷つけない、加工しない
 - コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - コードを加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ交換をご依頼ください。

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

設置について



禁止

次のような所では使用しない

- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - 風通しや換気の悪い所
 - 直射日光のあたる所や熱器具のそば
 - 振動の多い所
 - 湿気、ほこり、油煙、湯気の当たる所
 - 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する所
 - 屋外
 - 温度、湿度が急激に変化し結露がしやすい所
結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。

そのまま使用すると故障の原因となることがあります。



水ぬれ禁止



プラグを抜く

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
 - 風呂やシャワー室で使用しない
 - エアコン等水を排出する機器の近くで使用しない
 - プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
 - プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
- 万が一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡してください。



注意

天吊り設置

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談してください。お客様による設置は絶対にやめてください。落下してけがの原因となります。
- プロジェクターの天吊りは、プロジェクターを吊り下げるために十分な強度を必要とし、さらに国の建築基準法に従わなくてはなりません。また、プロジェクター本体や天井用取付けユニットおよび取り付け場所に不具合が発生した場合を想定して、落下防止の対応が必要です。
- 設置や取り扱いが適切でない、誤使用、改造、天災などに起因する事故、損害については、当社は一切責任を負いません。
 - 天吊りなどの設置をしたときは、プロジェクターにぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。
 - 天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントを使用してください。



使用について



禁止



プラグを抜く

内部に物を入れない

- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭では注意してください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口ご連絡してください。



プラグを抜く

故障したときは電源プラグを抜く

- プロジェクターから煙が出ている、変なにおいがする、変な音がある場合や、プロジェクターを落としたりキャビネットを破損した場合は、プロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけではなく、視力障害ややけどの原因になります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ修理を依頼してください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



分解禁止

プロジェクターの分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電およびレーザー光がもれることによる視力障害ややけどの原因となります。
内部の点検・調整・修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ依頼してください。



禁止



高温注意

プロジェクターの動作中にレンズの前に物を置かない

- 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- 上記を警告するために、プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。





警告



禁止

プロジェクターの清掃時

- レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。



禁止

極めて高い信頼性を必要とする業務に使用しない

- 生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。



禁止

本機はコイン形リチウム電池を内蔵しています

- お客様によるこの電池の交換はできませんので、絶対に外さないでください。
- 本機はお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 万一電池を取り外してお子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡し、指示を受けてください。
電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合は死に至ることがあります。
電池を飲み込んだ場合は直に取り出す必要があります。



注意

電源コードについて

 必ず行う	電源コードの取り扱い ● 電源プラグを抜き差ししやすい場所のコンセントを使用してください。 ● プロジェクターの AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクターを奥までしっかり差し込んでください。また電源コードは壁のコンセントにしっかり差し込んでください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。
 必ず行う  プラグを抜く	火災や感電を防ぐために、次のことを守る ● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 ● お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
 必ず行う	電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く ● 火災・感電の原因となることがあります。
 必ず行う	電源コードやケーブル類を抜いてから移動する ● コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
 禁止	電源コードは、タコ足配線しない ● タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。



注意

使用について



禁止

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない

- プロジェクターの LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。
LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。



必ず行う

レンズシフト、フォーカス、ズームの操作

- レンズシフト、フォーカス、ズームの調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。
- レンズシフト動作中は、レンズの周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズの隙間に指を挟むおそれがあります。



必ず行う

乾電池は適切に取り扱う

乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破裂によるけがの原因となることがあります。

- 指定以外の電池を使用しない。
- 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。
乾電池は種類によって特性が異なります。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す。
液がもれて故障の原因となるおそれがあります。
もれた液に触れたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
もれた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。
- 長時間使わないときは、乾電池を取り出す。
- 高温になる場所や気圧の低い場所に放置しない。
破裂したり乾電池から可燃性の液やガスがもれる可能性があります。
- 乾電池を水の中に投入したり、器具で押しつぶしたり、焼却、加熱、切断、改造しない。
破裂のおそれがあります。
- 乾電池をショートや充電をしない。

注意

- 乾電池を廃棄する際は、プラス（＋）とマイナス（－）をセロハンテープで絶縁して廃棄する。
廃棄する際は販売店、または自治体に問い合わせてください。



禁止



高温注意

通風口について

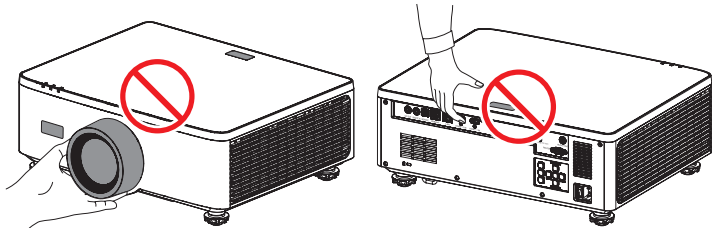
- プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。
プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として 1 m 以上）あけてください。
- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があります、やけどの原因となることがあります。

プロジェクターの持ち運び

- プロジェクターを持ち運ぶとき、レンズフードを持たないでください。レンズフードがプロジェクター本体から外れ、プロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。
- プロジェクターを持ち運ぶとき、接続端子部のくぼみを持たないでください。キャビネットが破損してプロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。



禁止



禁止

本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下からない
硬いものでこすったり、たたいたりしない

- 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。



注意



必ず行う

温度や湿度が急激に変化する環境での使用、保存を避ける

- 以下の使用環境・保存環境で本機をご使用、保存ください。
守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。
- 動作温度：0～45℃
- 動作湿度：10～85%（ただし、結露しないこと）
- 保存温度：－10～60℃
- 保存湿度：20～90%（ただし、結露しないこと）



必ず行う

3D 映像を視聴する際の健康に関するご注意

- 健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト（ブルーレイ、ゲーム、コンピューターの動画ファイルなど）および 3D メガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。
- 健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。
 - 3D 映像を視聴する以外の目的で、3D メガネを使用しないでください。
 - スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。
 - 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。
 - 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。
 - 視聴中に身体に異常（吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど）を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。
- 3D 映像はスクリーンの正面から視聴してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。

点検と清掃について



必ず行う

プロジェクターの点検・本体内部の清掃

- 1 年に一度くらいは内部の清掃をお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまつたまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましてはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

プロジェクターの性能確保のための注意事項

- レーザー光線のような強い光がレンズから入り込むと、故障の原因となります。
- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
 - たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して使用する場合は、あらかじめ本書の裏表紙に掲載しているシャープサポートページをご確認ください。(→[裏表紙](#))
- 本機は気圧センサーを内蔵しており、設置する場所の標高に応じて自動的に「高地モード」が「オン」に切り替わります。高地モードがオンに切り替わると、冷却ファンが高速で回転します。
なお、標高が 1500 m を超えても高地モードがオンに切り替わらない場合は、手動でオンスクリーンメニューの「システム」→「高地モード」を「オン」に切り替えてください。
- プロジェクターを高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。
- プロジェクターの持ち運びについて
プロジェクターに振動や強い衝撃を与えないでください。プロジェクターの故障の原因となります。
- チルトフットはプロジェクターの傾き調整以外の用途には使用しないでください。
チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、投写レンズ面には手を触れないでください。
- 投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断しないでください。故障の原因となることがあります。
電源コードを抜いたり AC 電源を切断したりする場合は、電源ボタンを押して、スタンバイ状態になる（電源インジケーターがオレンジ色で点灯または点滅する）まで待ってください。
- リモコンの取り扱いについて
 - リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
 - リモコンとリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
 - 乾電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい乾電池に交換してください。
 - 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
 - 誤動作防止のために、エアコンやステレオコンボなど他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。
 - 他の機器のリモコンによる影響が懸念される場合は、リモコンの識別 ID（コントロール ID）を設定するなどして誤動作を防止してください。
 - 本体から約 6 m 以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
 - リモコンを落としたり、誤った取り扱いほしないでください。
 - リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってく

ださい。

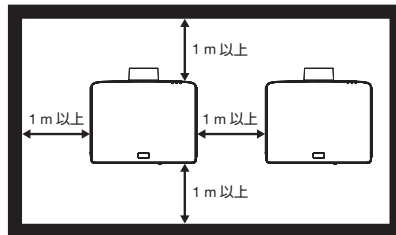
- できるだけ熱や湿気の少ないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を 2 本とも取り出してください。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明などプロジェクター以外からの光が入らないようにしてください。外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

設置する際の周囲との距離についての注意

プロジェクターを設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。プロジェクターから出た高温の排気が再びプロジェクターに吸気される場合があります。

下の図は、プロジェクターを 2 台並べたときの例です。

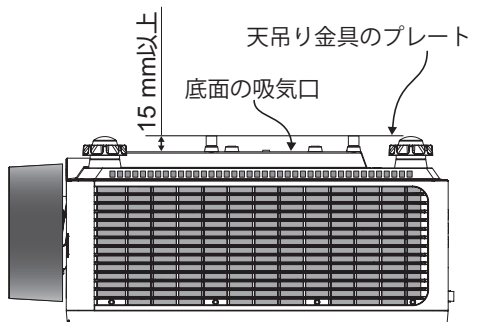
また、エアコンから吹き出された風がプロジェクターに当たらないようにしてください。プロジェクターの温度制御で異常（温度エラー）を感知して自動的に電源が切れることがあります。



[注意]

- 上の図において、プロジェクターの上方には十分な空間があるものとします。
また、プロジェクターの底面にも吸気口がありますので、吸気口を塞がないように注意してください。

プロジェクターを天吊り設置する際は、プロジェクターの底面にある吸気口と天吊り金具のプレートの間隔を 15 mm 以上離してください。



設置や保管についての注意事項

● 次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。

- 振動や衝撃が加わる場所
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、プロジェクターに振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
- 高圧電線や動力源の近く
妨害を受ける場合があります。
- 強い磁界が発生する場所
故障の原因となります。
- 屋外および湿気やほこりの多い場所
油煙や湯気の当たるような場所
腐食性のガスが発生する場所
キャビネットに油や薬品、水分などが付着した場合、キャビネットの変形またはひび割れ、金属部分の腐食、および故障の原因となります。

● 設置業者様へ

本機を設置する際は、以下の事項にご注意ください。

- ① 落下防止のためプロジェクターおよび天井取付けユニットの荷重に長期間耐えるようにしてください。
- ② 設置は、天井取付けユニットの取扱説明書に従って、正しく確実に作業してください。
所定のネジや固定金具はすべて確実に取り付けてください。
- ③ 落下防止のために落下防止ワイヤーを使用してください。
 - 市販の金具などを用いて建物や構造物の丈夫な箇所とプロジェクターのセキュリティバーを落下防止ワイヤーで接続してください。
 - 市販の金具や落下防止ワイヤーはプロジェクターおよび天井取付けユニットの荷重に耐えられるように十分強度のある物をご使用ください。
 - 落下防止ワイヤーはプロジェクターに負荷をかけないように、少したるませるように設置してください。
 - セキュリティバーの位置については、[27 ページ](#)をご覧ください。

廃棄について

本機はコイン形リチウム電池を内蔵しています。

本機を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

個人情報の初期化について

本機には、IP アドレス等、個人情報が記録されている可能性があります。廃棄・譲渡する際には、オンスクリーンメニューの「すべてのリセット」を実行して、設定の初期化をしてください。

投写する映像の著作権について

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、プロジェクターを使って映像を投写する場合、プロジェクターの機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがあります。

アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

本機のパワーマネージメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネージメント機能 (1)、(2) を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを経由して外部機器から制御する場合は、オンスクリーンメニューを表示して (1)、(2) の設定を変更してください。

(1) スタンバイモード (初期設定：ノーマルスタンバイ)

外部機器から制御する場合は「ネットワークスタンバイ」または「スリープ」に変更してください。(→ [84 ページ](#))

(2) オートパワーオフ (初期設定：20 分)

外部機器から制御する場合は「0 分 (オフ)」に設定してください。(→ [85 ページ](#))

有線 LAN に関するご注意

本機の HDBaseT ポートおよび LAN ポートは公衆回線（電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む）に直接接続することを意図して設計されていません。

そのため HDBaseT ポートおよび LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

商標について

- DLP®、DLP® ロゴ、DLP® Link™ は、Texas Instruments の登録商標または商標です。
- Apple、Mac、MacBook は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI®、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。
- PJLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- CRESTRON、Crestron Fusion® は Crestron Electronics, Inc. の米国その他の国における登録商標または商標です。
- AMX は米国 AMX LLC の登録商標または商標です。
- Ethernet は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、当社のホームページをご参照ください。

<https://smj.jp.sharp/r/29/>

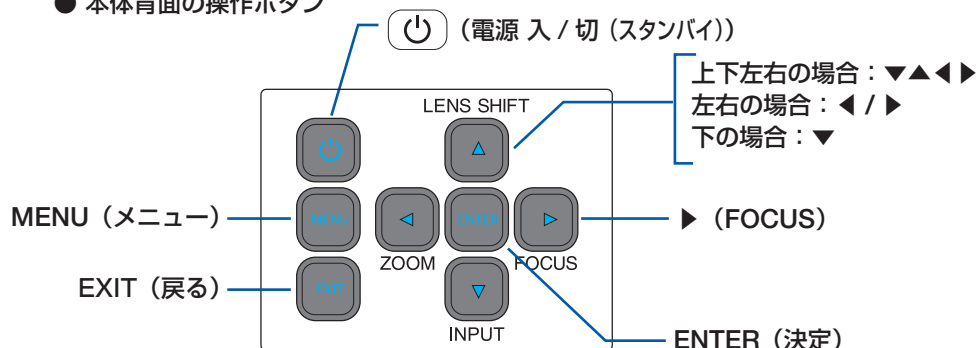
本書の表記について

マークの意味

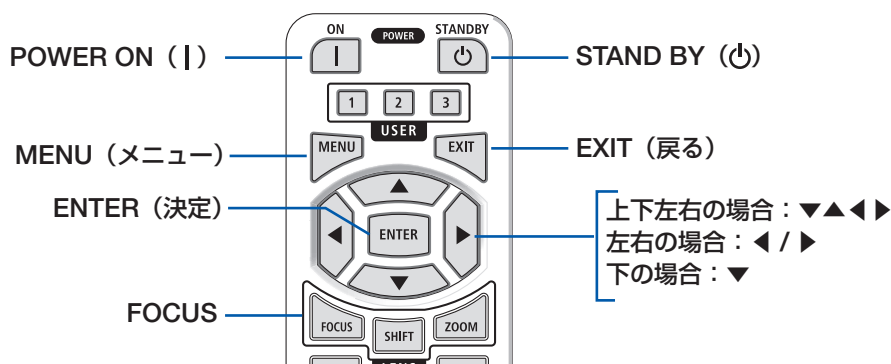
[重要]	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
[注意]	注意や制限事項を表しています。
[参考]	補足説明や役立つ情報を表しています。
適応機種	機種によって異なることを表しています。
→ 00 ページ	本書内の参照ページを表しています。

操作ボタンの表記例

● 本体背面の操作ボタン



● リモコンの操作ボタン



[参考]

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 製品概要、添付品、名称を確認する

1-1. 特長

■ 全般

- DLP® 方式の高輝度・高解像度プロジェクター

機種名	明るさ	表示解像度	アスペクト比
XP-P721Q-W	7200 lm / 7400 lm (センター)	4K UHD (3840 × 2160 ドット)	16:9
XP-P601Q-W	6000 lm / 6200 lm (センター)		

■ 光源・輝度

- 長寿命レーザー光源を採用

レーザー光源は長寿命のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。

- 幅広い輝度調整が可能

ランプとは異なり、出力を 10% から 100% まで 1% 刻みで調整することができます。

■ 設置

- 360° の設置、ポートレート投写が可能

本機は、垂直方向と水平方向 360° の、どの角度でも設置が可能です。

本機を傾けて設置する場合は、十分な強度のある金具を使用してください。

また、投写画面を 90° 傾けたポートレート投写ができます。必ず専用のスタンドを制作して設置してください。



警告

天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談してください。
お客様による設置は絶対にやめてください。落下してけがの原因となります。

- 電動フォーカス、電動ズーム、および電動レンズシフトを装備

リモコンまたはプロジェクター本体の操作ボタンを押すことにより、フォーカス、ズーム、およびレンズシフトの調整ができます。

- 豊富な台形補正機能

本機は、豊富な台形補正機能（水平 / 垂直台形補正、4 点補正、ワーピング（湾曲補正））を搭載しており、平面ではないスクリーンに投写することができます。

- 10 ワット×2 のスピーカー内蔵

会議室や教室で視聴していただけるように、10 ワット×2 のスピーカーを内蔵しています。

■ 映像

- **HDMI 入力端子を 2 系統、および HDBaseT 端子**
HDMI 入力端子を 2 系統、および HDBaseT 端子を装備しています。
すべての端子で 4K、60Hz までの映像を投写できます。
またすべての端子で HDCP に対応しています。

■ ネットワーク

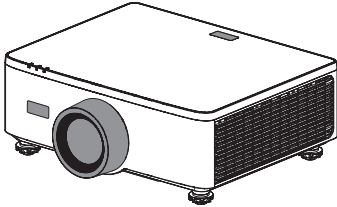
- **有線 LAN 対応**
LAN ポート (RJ-45) を装備しており有線 LAN に接続してコンピューターから本機を制御できます。
アプリケーションソフト NaViSet Administrator 2 に対応しており、プロジェクターの状態をモニタリングしたり、様々な機能を制御することができます。
- **スケジュール機能**
本機の HTTP サーバー画面にアクセスすると、本機の動作について 1 週間 (7 日間) のスケジュールを設定することができます。設定できるイベントは、電源のオン/オフ、入力端子切り替え、ライトモード、AV ミュートのオン/オフなどです。
- **Crestron Fusion® に対応**
本機は Crestron Fusion® に対応しています。コンピューターやコントローラーから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

■ 省エネ

- **スタンバイ時の消費電力が 0.5 ワットの省エネ設計**
オンスクリーンメニューの「スタンバイモード」を「ノーマルスタンバイ」に設定 (本機の初期設定) すると、スタンバイ時の消費電力が 0.5 ワットになります。
- **動作中の消費電力を抑えるエコモード**
オンスクリーンメニューの「光源設定」→「ライトモード」を「エコ」に設定すると、光源の輝度を下げて消費電力を抑えることができます。
- **設定した時間内に信号入力や操作がない場合に、自動的に光源をオフ**
オンスクリーンメニューの「電源設定」→「オートパワーオフ (分)」の時間を設定すると、設定した時間内に信号入力や操作がない場合に、自動的に電源をオフして消費電力を抑えることができます。本機の工場出荷時は、20 分に設定されています。

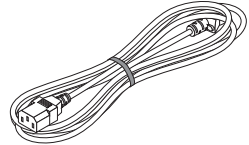
1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。



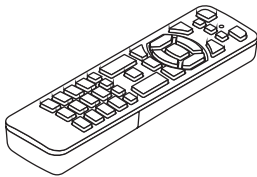
プロジェクター（本機）

注：本機にレンズキャップは添付していません。

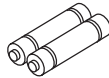


電源コード（3 芯タイプ）

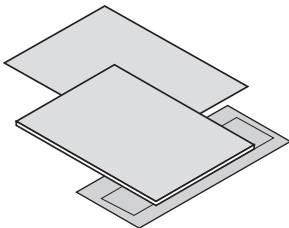
3 m



リモコン



単 4 形マンガン乾電池
（リモコン用）2 本



重要なお知らせ

クイックスタートガイド

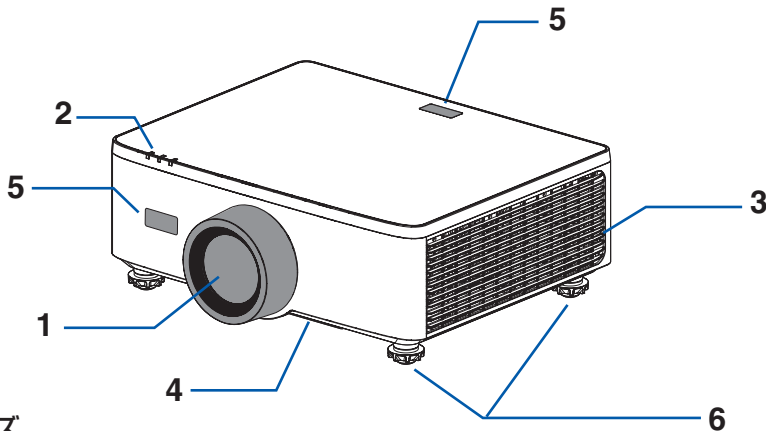
保証書

[参考]

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前部



1 レンズ

ここから映像が投写されます。

2 インジケーター

インジケーターは、本機の動作状態を知らせます。(→ 29 ページ, 122 ページ)

3 排気口

内部の熱を排気します。

4 吸気口

外気を取り込み本体内部を冷却します。

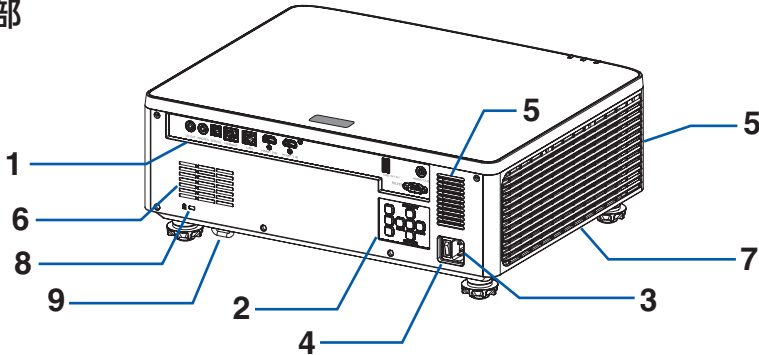
5 リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。本体の前面と上面の2箇所にあります。(→ 36 ページ)

6 チルトフット（前後に4箇所）

チルトフットを回して前後左右の傾きを調整します。(→ 50 ページ)

本体後部



1 接続端子部

HDMI ケーブルや LAN ケーブルなどを接続します。(→ 30 ページ)

2 本体操作部

本機の電源の入／切や、オンスクリーンメニューの操作などができます。(→ 次ページ)

3 AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。(→ 39 ページ)

4 主電源スイッチ

「**I**」側を押すと AC 電源が供給されスタンバイ状態になり、「**O**」側を押すと AC 電源を切断します。(→ 41 ページ、52 ページ)

5 スピーカー

HDMI1/2 入力端子から入力された音声を出します。(→ 51 ページ)

6 排気口

内部の熱を排気します。

7 吸気口

外気を取り込み本体内部を冷却します。

8 セキュリティスロット ()

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくは下の「参考」をご覧ください。

9 セキュリティバー

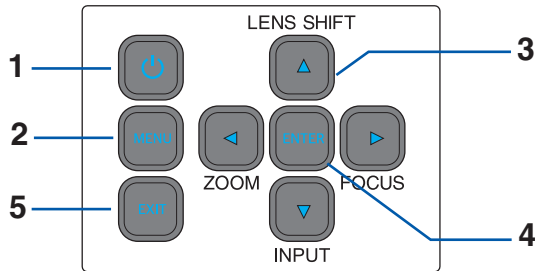
本機のセキュリティバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。
セキュリティケーブル（またはワイヤー）を取り付けます。

【参考】

● セキュリティスロットについて ()

セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

本体操作部



1 (電源) ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入／切（スタンバイ状態）します。

電源を切る（スタンバイ状態）ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度 (電源) ボタンを押します。

2 MENU (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(→ 60 ページ)

3 ▼▲◀▶ ボタン (レンズシフト、フォーカス、ズーム、入力切替 ボタン)

- オンスクリーンメニューを表示しているときに▼▲◀▶ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。
- オンスクリーンメニューを表示していないときに、▲ (LENS SHIFT) ボタンを押すと、レンズシフトを調整できます。(→ 46 ページ)
- オンスクリーンメニューを表示していないときに、▶ (FOCUS) ボタンを押すと、フォーカスを調整できます。(→ 48 ページ)
- オンスクリーンメニューを表示していないときに、◀ (ZOOM) ボタンを押すと、ズームを調整できます。(→ 49 ページ)
- オンスクリーンメニューを表示していないときに、▼ (INPUT) ボタンを押すと、入力切替メニューを表示します。(→ 44 ページ)

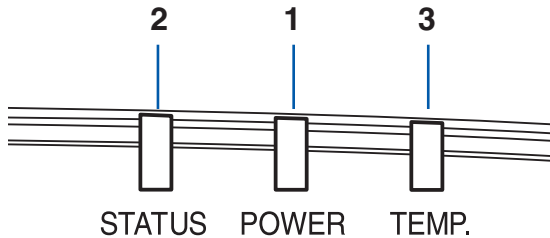
4 ENTER (決定) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進み、選択項目を決定します。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

5 EXIT (戻る) ボタン

オンスクリーンメニューのメインメニューアイコンにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。サブメニューにカーソルがあるときは、メインメニューアイコンに戻ります。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

インジケーター



1 POWER（電源）インジケーター

本機の電源の状態を表すインジケーターです。
電源が入っているときは緑色に点灯します。
スタンバイ時は、オレンジ色で点灯または点滅します。

2 STATUS（ステータス）インジケーター

AV ミュート時に赤色で点滅します。

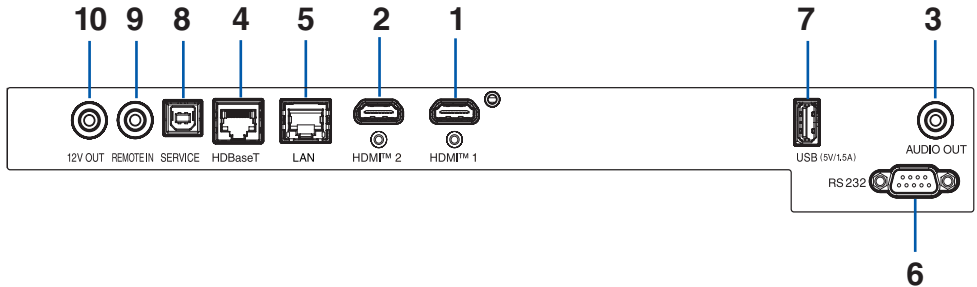
3 TEMP.（温度）インジケーター

本体内部の温度異常などを検知したときに点灯または点滅します。

[参考]

- 詳しくは「インジケーター表示一覧」をご覧ください。（→ [122 ページ](#)）
-

接続端子部



1 HDMI 1 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

2 HDMI 2 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

3 音声出力端子 (ステレオ・ミニ)

本機から投写されている映像の音声入力端子の音声信号を出力します。

- 本機の音声出力端子は、ヘッドホン用端子ではありません。

[参考]

- 本機が電源オン状態以外有的时候、音声出力端子から音声信号は出力されません。
- オンスクリーンメニューの「システム」→「オーディオ設定」→「オーディオ出力」で、内蔵スピーカーから音声を出すか、音声出力端子から音声を出すかを選択できます。(→ [90 ページ](#))

4 HDBaseT ポート (RJ-45)

本機を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。

5 LAN ポート (RJ-45)

本機を有線 LAN に接続します。

- 本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザーを使用して本機を制御することができます。(→ [96 ページ](#))
- その他の制御機器を使って、本機を制御できます。

6 RS 232 端子 (D-Sub 9 ピン)

コンピューターから本機を操作するときに使用します。

市販のリバースタイプ (クロスタイプ) の RS-232C ケーブルを接続してください。

7 USB ポート (タイプ A)

本機の電源が「入」状態のとき、5.0 V / 1.5 A の電源を供給します。

8 サービスマン専用端子（タイプ B）

お客様は使用できません。

9 REMOTE IN 端子（ステレオ・ミニ）

市販のΦ 3.5 ステレオミニプラグ付きケーブル（抵抗無し）を使って本機のリモコンと接続すると、有線でのリモコン操作が行えます。

リモコンの赤外線送信ができない場合に使用します。（→ [37 ページ](#)）

【注意】

- REMOTE IN 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- REMOTE IN 端子からリモコンへ電源は供給されません。
- リモコン受光部設定で HDBaseT を選択しており、かつ市販の HDBaseT 対応の伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定している場合は赤外線でのリモコン操作ができません。ただし、伝送機器の電源を切っているときは赤外線でのリモコン操作が可能です。）

10 12V OUT 端子（ステレオ・ミニ）

本機の電源を入ると、スクリーンの制御電圧が出力されます。

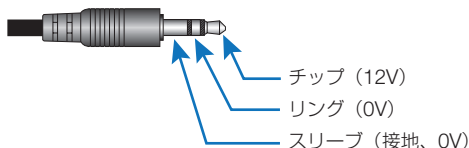
本機の電源の入／切に応じて、スクリーンの上げ下げなどの制御を行う場合に、スクリーンコントローラーなどの機器に接続します。制御電圧の使用についてはオンスクリーンメニューの「12V トリガー」をご覧ください。（→ [89 ページ](#)）

【重要】

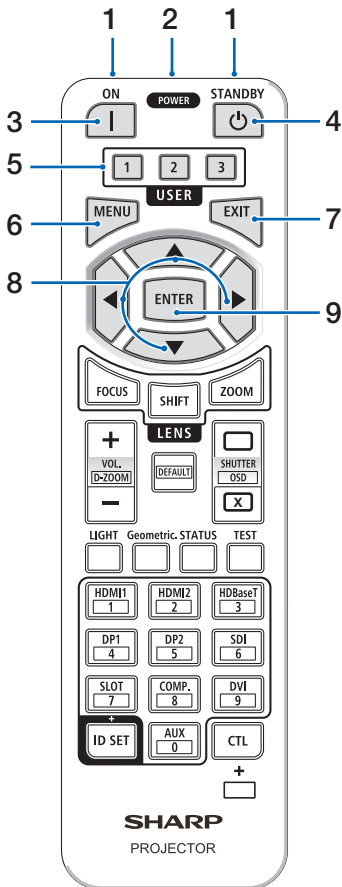
- 誤って 12V OUT 端子にリモコンケーブルを接続すると、リモコンが故障します。

【参考】

- 12 V OUT 端子に接続する音声ケーブルの仕様



1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 リモコンケーブル接続端子

リモコンを有線で使用するとき、市販のφ 3.5 ステレオミニプラグ付きケーブル（抵抗なし）を接続します。

3 POWER ON ボタン (I)

スタンバイ状態のときに、本機の電源を入れます。

4 POWER STANDBY ボタン (⏻)

一度押すと電源オフ確認メッセージを表示します。もう一度 POWER STANDBY (⏻) ボタンを押すと、本機の電源が切れます。

5 USER1/2/3 ボタン

機能を 9 種類から選択して設定できます。

6 MENU ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

7 EXIT ボタン

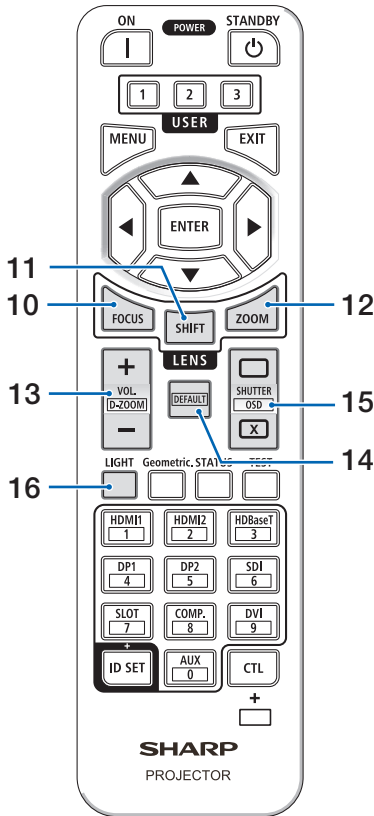
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

8 ▼▲◀▶ボタン

オンスクリーンメニュー操作や D-ZOOM ボタン、SHIFT ボタンなどと組み合わせて使用します。

9 ENTER ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。



10 FOCUS ボタン

フォーカス調整画面を表示します。▲ / ▼ ボタンでレンズのフォーカスを調整します。

11 SHIFT ボタン

レンズシフト調整画面を表示します。▼▲◀▶ ボタンでレンズ位置を調整します。

12 ZOOM ボタン

ズーム調整画面を表示します。▲ / ▼ ボタンでレンズのズームを調整します。

13 VOL/D-ZOOM + / - ボタン

音声出力端子の音量を調整します。
CTL ボタンと同時に押すと、画面の拡大・縮小（もとに戻す）をします。

14 DEFAULT ボタン

（本機では使用しません）

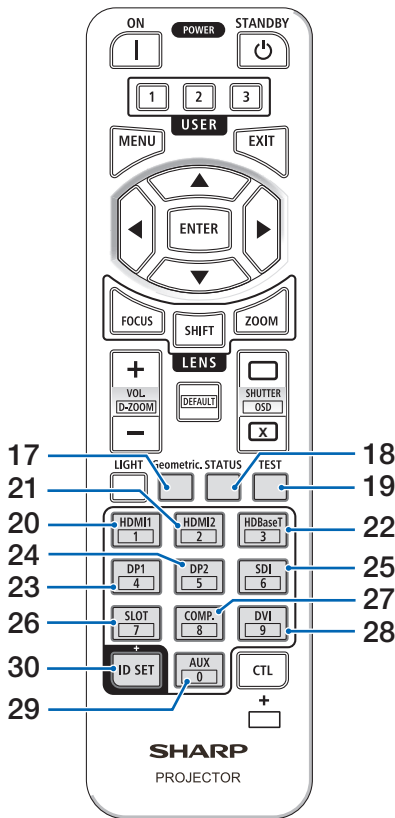
15 SHUTTER / OSD OPEN (□) / CLOSE (X) ボタン

CLOSE ボタンを押すと、光源が消灯して投写光が一時的に消えます。OPEN ボタンを押すと戻ります。

CTL ボタンと同時に CLOSE ボタンを押すと、オンスクリーン表示を消します（オンスクリーンミュート）。CTL ボタンと同時に OPEN ボタンを押すと戻ります。

16 LIGHT ボタン

ライトモード画面を表示します。



17 Geometric. ボタン

オンスクリーンメニューの「幾何学補正」を表示します。投写画面の歪み調整に使用します。

18 STATUS ボタン

オンスクリーンメニューの「情報」を表示します。

19 TEST ボタン

テストパターンを表示します。

20 HDMI1 ボタン

HDMI1 入力を選択します。

21 HDMI2 ボタン

HDMI2 入力を選択します。

22 HDBaseT ボタン

HDBaseT 入力を選択します。

23 DP1 ボタン

(本機では使用しません)

24 DP2 ボタン

(本機では使用しません)

25 SDI ボタン

(本機では使用しません)

26 SLOT ボタン

(本機では使用しません)

27 COMP. ボタン

(本機では使用しません)

28 DVI ボタン

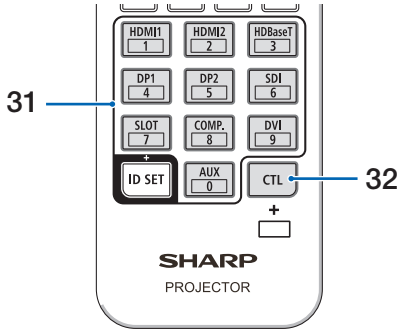
(本機では使用しません)

29 AUX ボタン

(本機では使用しません)

30 ID SET ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロール ID 設定に使用します。



31 数字 (0 ~ 9) 入力ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合の ID 入力に使用します (コントロール ID 設定)。

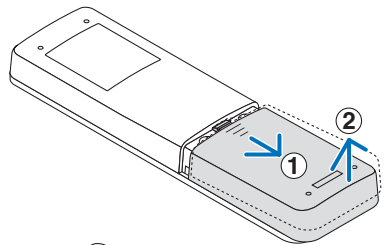
ID SET ボタンを押したまま 0 ボタンを押すと、コントロール ID 設定を解除します。

32 CTL ボタン

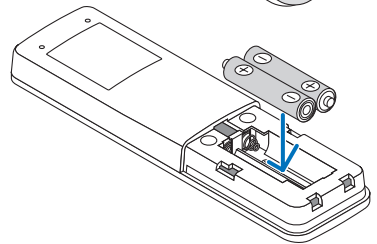
他のボタンと併用するための複合機能ボタンです。

電池の入れかた

1. リモコン裏面の電池ケースのふたを押したまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

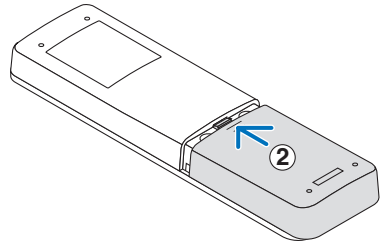
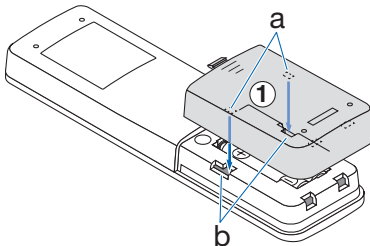


2. ケース内部に表示している+、-の向きに合わせて単 4 乾電池をセットする。



3. もとどおりにふたをする。

ふたのツメ①をケースのミゾ②に入れてからふたをしめます。



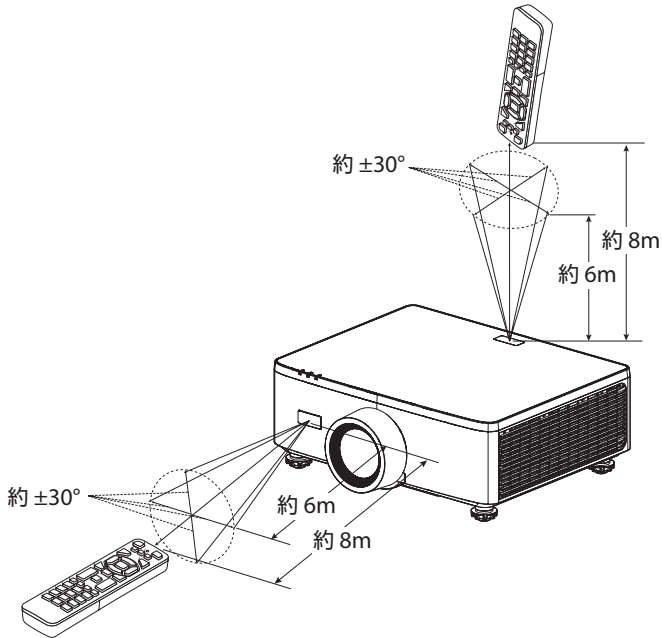
[注意]

- 乾電池を交換するときは、2 本とも同じ種類 (アルカリまたはマンガン) の単 4 乾電池をお買い求めください。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

受光範囲



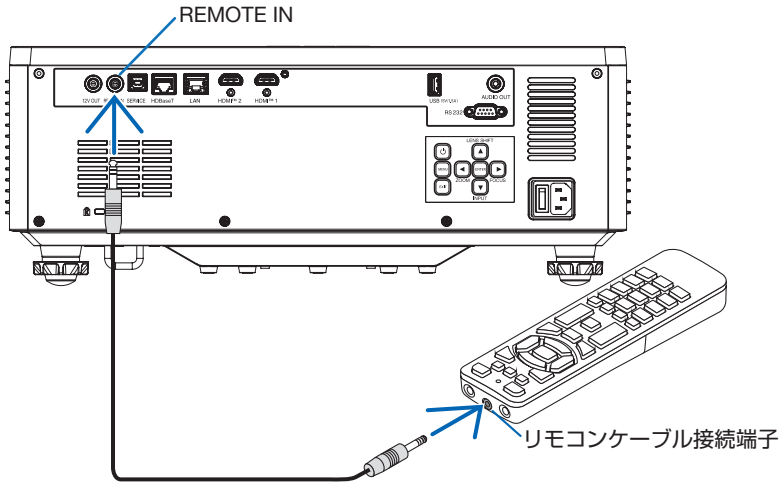
(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

[注意]

- リモコンの使用上の注意事項は、[17 ページ](#)をご覧ください。

リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、受光範囲外でリモコン操作するときは、リモコンケーブルを使用して、本体とリモコンを接続してください。



- リモコンケーブルは、市販のΦ 3.5 ステレオミニプラグ付き（抵抗なし）を使用してください。
- REMOTE IN 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- REMOTE IN 端子からリモコンへ電源は供給されません。有線で使用する場合でも、リモコンに乾電池を入れてください。

[重要]

- 誤ってリモコンケーブルを 12V OUT 端子に接続すると、リモコンが故障します。

2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1	コンピューターと接続する／電源コードを接続する（→次ページ）
ステップ 2	本機の電源を入れる（→ 41 ページ ）
ステップ 3	入力信号を選択する（→ 44 ページ ）
ステップ 4	投写画面の位置と大きさを調整する（→ 45 ページ ）
ステップ 5	本機の音量を調整する（→ 51 ページ ）
ステップ 6	プレゼンテーションをする
ステップ 7	本機の電源を切る（→ 52 ページ ）
ステップ 8	移動するときは（→ 53 ページ ）

2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する

1. コンピューターと接続する。

ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。他の接続は「5. 機器と接続する」→ [93 ページ](#)をご覧ください。

コンピューター側の HDMI 出力端子と、本機の HDMI 1 入力端子または HDMI 2 入力端子を、市販の HDMI ケーブルで接続します。

[参考]

- プレミアムハイスピード対応の HDMI ケーブルを使用してください。

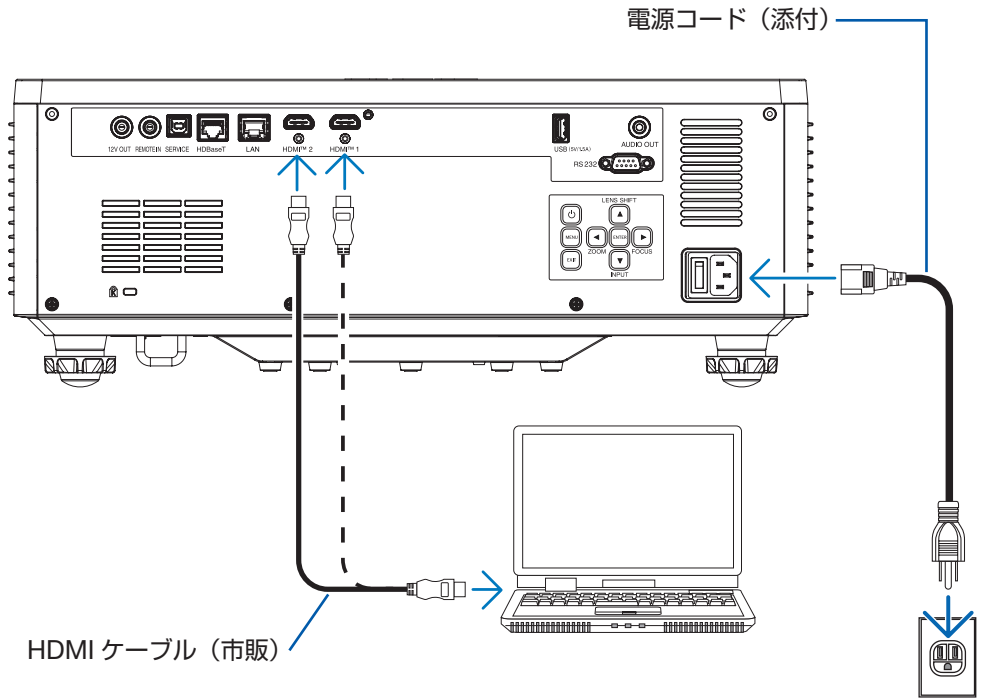
2. 電源コードを接続する。

添付の電源コードを使って、コンセントに本機を接続します。

- ① 電源コードのコネクターを本機の AC IN 端子に差し込む。
- ② 電源コードのプラグを AC100V の 3 芯コンセント（アース工事済み）に差し込む。



- 本機は電源コードのアース端子をアースに接続することを前提に設計されている 3 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3 芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。2 芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。
- プロジェクターとコンピューター（信号源）は必ず同じアースに接続してください。プロジェクターとコンピューター（信号源）を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。
- アース工事は専門業者にご依頼ください。
- 電源コードを 3 芯コンセントに接続するときは、コネクターやプラグを奥までしっかり差し込んでください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。



電源コードは奥までしっかり差し込んでください。



注意

電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

2-3. 本機の電源を入れる

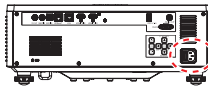


警告

プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

1. 主電源スイッチの「I」（入）側を押す。

主電源スイッチを「I」（入）側になると、本機の POWER インジケーターがオレンジ色で点灯または点滅し、本機がスタンバイ状態になります。

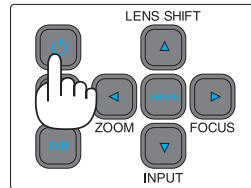


2. ボタンを押す。

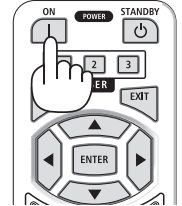
POWER インジケーターが緑色に点灯し、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、POWER ON (I) ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、ブルーバックが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
- 映像がぼやけている場合は、画面のフォーカスを合わせてください。（→ [48 ページ](#)）
- 「セキュリティ」画面が表示されたときは、セキュリティパスワードが設定されています。（→ [86 ページ](#)）

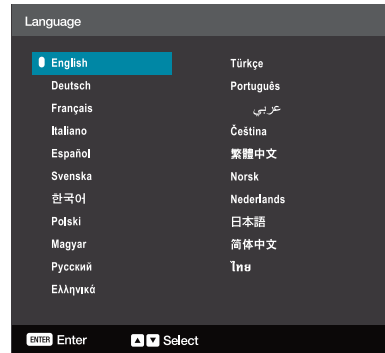
本体背面の操作ボタン



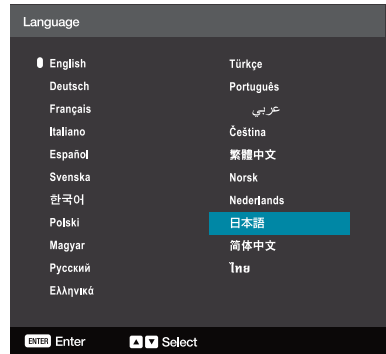
リモコン



ご購入後、はじめて本機の電源を入れると、最初に言語選択メニューが表示されます。



1. ▼ / ▲ボタンを押して「日本語」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。



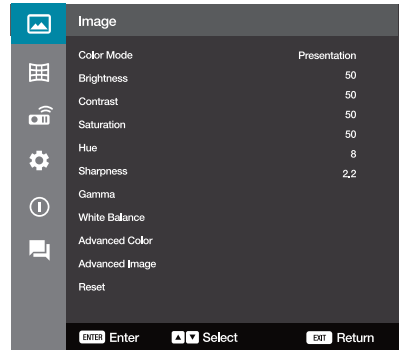
[注意]

- 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
さらに、反射した光でプロジェクターのレンズが高温になり、レンズが変形することがあります。
投写中に一時的に画面を消す場合は、リモコンの「SHUTTER CLOSE (X)」ボタンを押してください。再び画面を表示する場合は、「SHUTTER OPEN (□)」ボタンを押してください。
- 次のような場合は、(P) ボタンを押しても電源が入りません。
 - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源が入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。

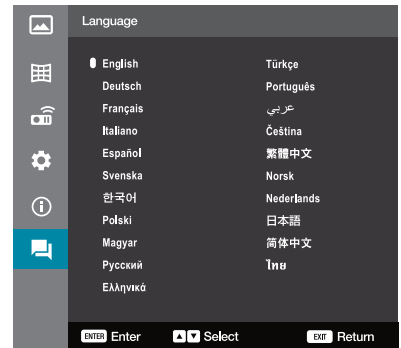
[参考]

- 本機のメニューやメッセージが「日本語」以外で表示されているときは、以下のように操作して「日本語」に変更してください。
以下は、「英語」から「日本語」に変更する場合です。

- ① リモコンまたは本体操作部で **MENU** ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが表示されます。



- ② ▲/▼ ボタンを押して「Language (言語)」アイコンを選択し、▶ または ENTER ボタンを押す。
言語一覧にカーソルが移動します。



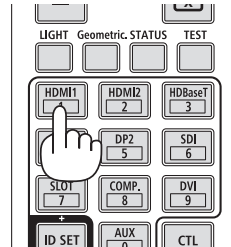
- ③ ▲/▼ ボタンを押して「日本語」を選択し、ENTER ボタンを押す。



2-4. 入力信号を選択する

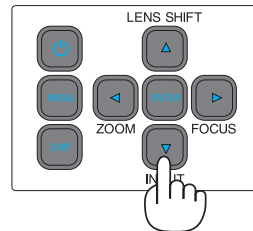
リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

1. 本機に接続しているコンピューターや DVD プレーヤーなどの電源を入れる。
DVD プレーヤーなどの映像を投写するとき
は、再生（PLAY）操作をしてください。
2. リモコンの HDMI 1 または HDMI 2 ボタンを押す。



本体背面の操作ボタンを押して選択する

1. 本機に接続しているコンピューターや DVD プレーヤーなどの電源を入れる。
DVD プレーヤーなどの映像を投写するとき
は、再生（PLAY）操作をしてください。
2. 本体背面の ▼（INPUT）ボタンを押す。
入力切替メニューが表示されます。
3. ▼ / ▲ボタンを押して入力端子にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。



[参考]

- 本機の工場出荷時は、オンスクリーンメニューの「ディスプレイ」→「信号」→「自動信号判別」が「オン」に設定されており、入力された信号を自動的に判別して投写します。（→ 78 ページ）
- 信号が入力されていないときは、ブルーバックが表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
DVD プレーヤーなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピューターの画面がうまく投写できない場合
ノートブックコンピューターの外部出力（モニター出力）設定を外部に切り替えてください。
- Windows のノートブックコンピューターの場合は、[Fn] キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F5]	Dynabook
[Fn] + [F8]	DELL

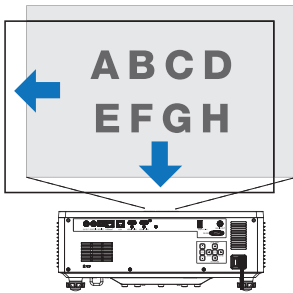
※ 詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- Apple MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
- それでも投写しない場合は入力端子を再度選択してください。

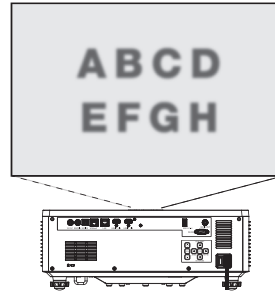
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやフォーカス、ズーム、チルトフットなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

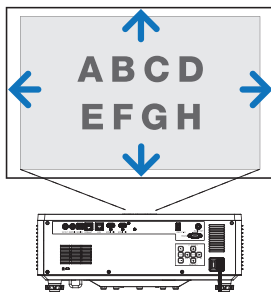
投写画面の上下・左右位置の調整
【レンズシフト】（→ 次ページ）



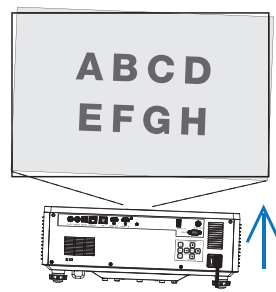
投写画面のフォーカス調整
【フォーカス】（→ 48 ページ）



投写画面の大きさの調整
【ズーム】（→ 49 ページ）



投写画面の高低と左右の傾き調整
【チルトフット】（→ 50 ページ）



※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

投写画面の位置の調整（レンズシフト）



注意

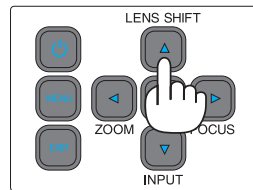
調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。

1. オンスクリーンメニューが表示されていないとき、プロジェクター本体の ▲（LENS SHIFT）ボタンを押す。

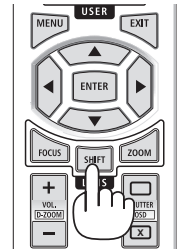
レンズシフト調整画面が表示されます。

- リモコンで操作する場合は、SHIFT ボタンを押します。

本体背面の操作ボタン

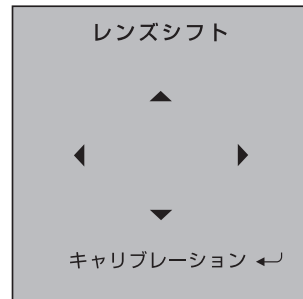


リモコン



2. ▲▼◀▶ボタンを押して、投写画面の位置を調整する。

- レンズシフト画面が表示されているときに ENTER ボタンを押すと、レンズキャリブレーション確認画面が表示されます。（→ [76 ページ](#)）



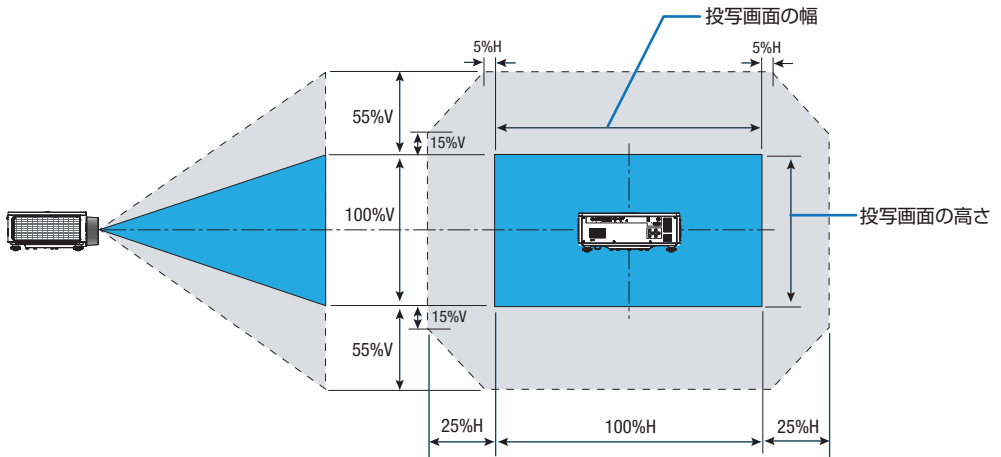
3. 調整が終わったら EXIT ボタンを押す。

[注意]

- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。

[参考]

- 次ページの図はレンズシフト調整範囲を示しています。



記号の意味：

Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表し、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。

投写画面のフォーカス合わせ（フォーカス）



注意

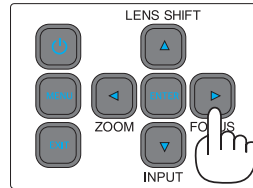
調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。

1. オンスクリーンメニューが表示されていないとき、プロジェクター本体の▶（FOCUS）ボタンを押す。

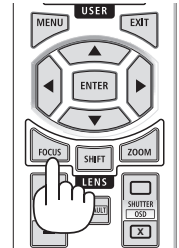
フォーカス調整画面が表示されます。

- リモコンで操作する場合は、FOCUS ボタンを押します。

本体背面の操作ボタン

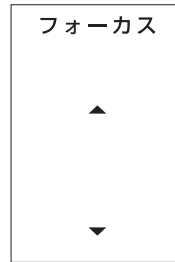


リモコン



2. ▲ / ▼ ボタンを押して、画面のフォーカスを調整する。

フォーカス



3. 調整が終わったら EXIT ボタンを押す。

[参考]

- フォーカス調整は、テストパターンを投写した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをおすすめします。
テストパターンの表示については [80 ページ](#)をご覧ください。

投写画面の大きさの調整（ズーム）



注意

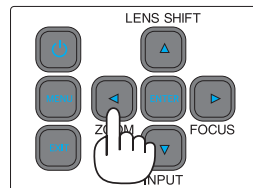
調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。

1. オンスクリーンメニューが表示されていないとき、プロジェクター本体の◀（ZOOM）ボタンを押す。

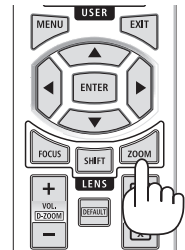
ズーム調整画面が表示されます。

- リモコンで操作する場合は、ZOOM ボタンを押します。

本体背面の操作ボタン

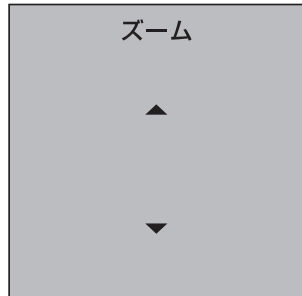


リモコン



2. ▲ / ▼ ボタンを押して、画面のズームを調整する。

ズーム



3. 調整が終わったら EXIT ボタンを押す。

投写画面の高低と左右の傾き調整（チルトフット）

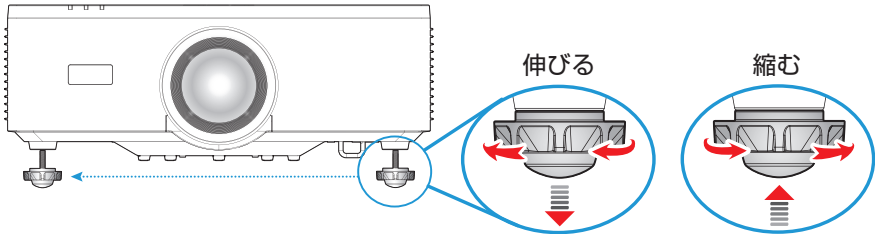
1. 前後左右にある 4 箇所のチルトフットを回して調整する。

チルトフットを回すとチルトフットが伸縮します。

投写画面の高低は左と右のチルトフットを回して高さ調整をします。

投写画面が傾いているときは、どちらかのチルトフットを回して水平に調整します。

- 投写画面が歪んでいるときは「3-5. 台形歪みを調整する（台形補正）」をご覧ください。（→ [57 ページ](#)）
- チルトフットは、最大約 19 mm 伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を水平方向に最大約 2.7°、垂直方向に最大約 3.6° 傾けることができます。



[注意]

- チルトフットの調整中は排気口に触れないでください。プロジェクターがオンになっている、またオフになった後も熱くなっている可能性があります。
- チルトフットは 19 mm 以上伸ばさないでください。19 mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

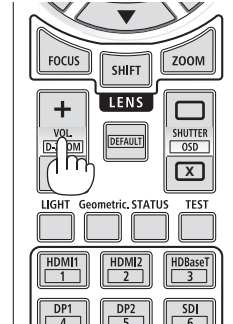
2-6. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

1. リモコンの VOL. + / - ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

+側	音量が大きくなります。
-側	音量が小さくなります。



[参考]

- 音量調整バーが表示されているときは、▲▼◀▶ボタンを押しても調整できます。

[注意]

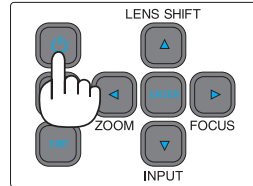
- オンスクリーンメニューが表示されているとき、および部分拡大+ボタンで画面を拡大しているときは、◀ / ▶ボタンを使った音量調整はできません。

2-7. 本機の電源を切る

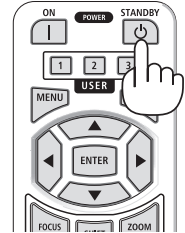
1. (⏻) ボタンを押す。

- リモコンで操作する場合は、STANDBY (⏻) ボタンを押します。

本体背面の操作ボタン



リモコン



画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

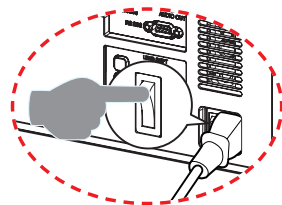
2. もう一度 (⏻) ボタンを押す。

光源が消灯し、電源が切れます。(スタンバイ状態)

- リモコンで操作する場合は、もう一度 STANDBY (⏻) ボタンを押します。
- スタンバイ状態になると、POWER インジケータがオレンジ色で点灯または点滅します。
- 電源を切らない場合は、確認メッセージが消えるのを待ちます。

3. 主電源スイッチの「O」(切) 側を押す。

POWER インジケータが消灯します。



注意

電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

[注意]

- 投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断しないでください。故障の原因となることがあります。
電源コードを抜いたり AC 電源を切断したりする場合は、電源ボタンを押して、スタンバイ状態になる（POWER インジケーターがオレンジ色で点灯または点滅する）まで待ってください。
-

2-8. 移動するときは

1. 電源コードを取り外す。
2. 各種信号ケーブルなどを取り外す。

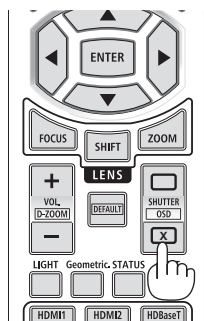
3. 便利な機能

3-1. 投写光を消灯する（シャッター）

1. リモコンの SHUTTER CLOSE () ボタンを押す。

光源が消灯して、投写光が一時的に消えます。

- SHUTTER OPEN () ボタンを押すと画面が投写され、音声が出ます。

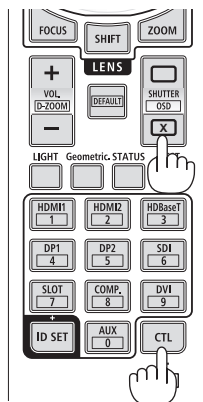


3-2. オンスクリーン表示を消去する（オンスクリーンミュート）

1. リモコンの CTL ボタンを押したまま OSD CLOSE () ボタンを押す。

オンスクリーンメニューや入力端子などの表示が出なくなります。

- リモコンの CTL ボタンを押したまま OSD OPEN () ボタンを押すと、オンスクリーン表示が出るようになります。



[参考]

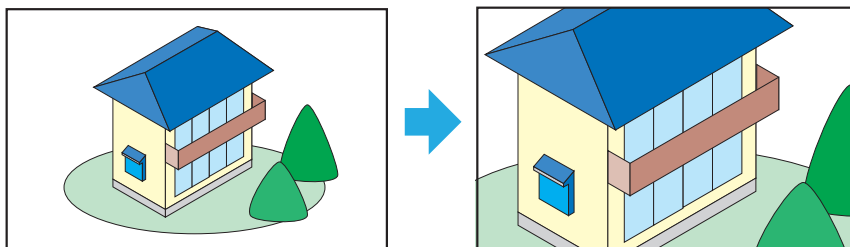
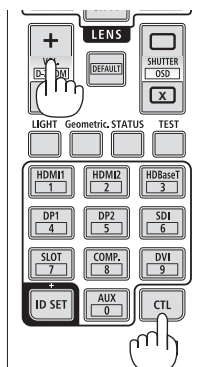
- オンスクリーンミュートが有効になっているかは、MENU ボタンを押したときにオンスクリーンメニューが出ないことで確認できます。

3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

1. リモコンの CTL ボタンを押したまま VOL/D-ZOOM + ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。

- 約 1.8 倍まで拡大できます。



2. リモコンの CTL ボタンを押したまま VOL/D-ZOOM - ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

- 約 80% まで縮小できます。

[注意]

- 信号によっては、1.8 倍まで拡大できない場合があります。

[参考]

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。

3-4. 輝度（明るさ）を調整する

本機は、使用目的などに合わせて、4 つのライトモードを選択できます。

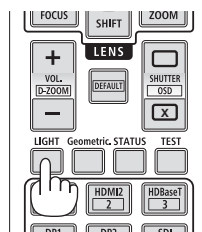
また、ライトモードで「輝度一定モード」または「電力一定モード」を選択したときに、輝度（明るさ）の出力を 1% 刻みで調整します。

ライトモード	標準	輝度レベルが 100% に固定されます。
	エコ	輝度レベルが 50% に固定されます。 輝度とファンを制御することで動作音が小さくなり消費電力も下がります。
	輝度一定モード	輝度レベルで設定した明るさを一定に保つように制御します。輝度レベルの調整範囲は、80% から 50% です。
	電力一定モード	輝度レベルで設定した明るさで投写します。輝度レベルの調整範囲は、100% から 10% です。 輝度レベルに応じて消費電力も下がりますが、本機の使用時間の経過に応じて明るさは変化します。
【注意】 ● 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になりません。		
輝度レベル	ライトモードで「輝度一定モード」および「電力一定モード」を選択したときに、輝度レベルを調整します。 「標準」または「エコ」を選択したとき、輝度レベルは選択できません。	

「光源設定」画面を表示する

1. リモコンの LIGHT ボタンを押す。

光源設定画面が表示されます。



【参考】

- 「光源設定」は、オンスクリーンメニューの「システム」→「光源設定」を表示してもできます。（→ [85 ページ](#)）

3-5. 台形歪みを調整する（台形補正）

台形補正機能を使用すると、投写画面の台形歪みを調整できます。ここでは「4点補正」の手順について説明します。

本機の台形補正機能の種類について

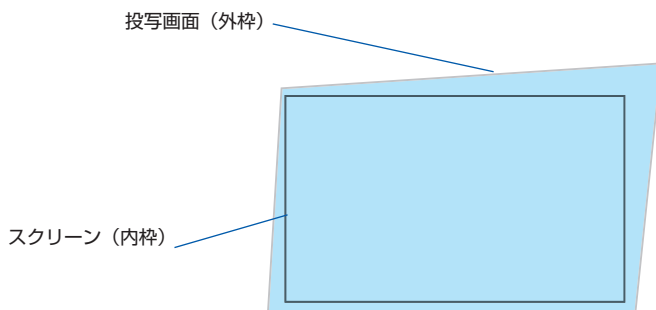
本機は、以下のような4種類の台形補正機能を持っています。

- 各台形補正機能を組み合わせて調整することはできません。
- 補正した状態は、本機の電源を切ったあとも保持します。補正した状態をもとに戻すには「リセット」を実行してください。

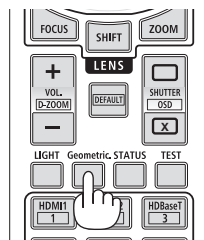
機能	説明
垂直台形補正	◀ / ▶ ボタンを押して、垂直方向の台形歪みを調整します。
水平台形補正	◀ / ▶ ボタンを押して、垂直方向の台形歪みを調整します。
4点補正	投写画面の4つの角について、各々▲▼◀▶ボタンを押して台形歪みを調整します。
ワーピング	曲面に投写したとき、画面の15箇所の点を上下左右に移動することにより湾曲した歪みを調整します。
リセット	調整した状態をもとに戻します。

4点補正をする

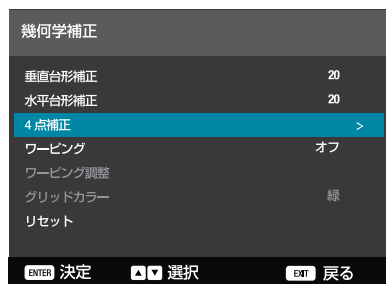
4点補正をする前に、投写画面がスクリーンの枠からはみ出すように位置を調整してください。



1. リモコンの Geometric. ボタンを押す。
「幾何学補正」メニューが表示されます。



2. ▲ / ▼ボタンを押して「4 点補正」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。
投写画面の中央に 4 点補正画面が表示されます。



3. ▲▼◀▶ボタンを押して、調整したい角に白い●を移動し、ENTER ボタンを押す。



4. ▲▼◀▶ボタンを押して、角の位置を調整する。



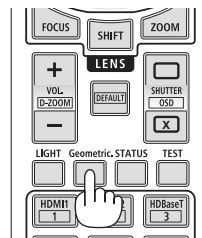
5. 調整し終わったら、ENTER または EXIT ボタンを押す。
6. 手順 3～5 を繰り返して、投写画面がスクリーン内に収まるように調整します。
7. 4 点補正の調整を終える場合は、EXIT ボタンを押す。

台形補正した値を初期値に戻す

台形補正した値を初期値に戻すには、幾何学補正メニューで「リセット」を選択します。

1. リモコンの Geometric. ボタンを押す。

「幾何学補正」メニューが表示されます。



2. ▲ / ▼ ボタンを押して「リセット」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

確認画面が表示されます。



3. ◀ / ▶ ボタンを押して、「はい」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

台形補正した値が初期値に戻ります。



4. オンスクリーンメニュー

4-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

4-1-1. オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するにはプロジェクター本体またはリモコンの MENU ボタンを押します。また、メニューを消す場合は、EXIT ボタンまたは MENU ボタンを押します。ここではメニューの見かたや操作方法について説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1. MENU ボタンを押す。

- EXIT ボタンまたは MENU ボタンを押すと、メニューが消えます。
- 画面上におけるメニューの表示位置を変更することができます。(メニュー位置 → 78 ページ)

2. ▼ / ▲ ボタンを押す。

- メインメニューアイコン（映像 ↔ ディスプレイ ↔ 通信 ↔ システム ↔ 情報 ↔ 言語）にカーソルが移動します。
- メインメニューアイコンが変わると、サブメニューも変わります。

3. メインメニューアイコンにカーソルがある状態で、▶ または ENTER ボタンを押す。

サブメニューにカーソルが移動します。

- サブメニューからメインメニューアイコンに戻る場合は、◀ または EXIT ボタンを押します。
- MENU ボタンを押すと、メニューが消えます。

4. ▼ / ▲ ボタンを押して目的のサブメニューにカーソルを合わせる。

サブメニューの右端に表示されているマークや項目名は、キー操作を表しています。



前ページのメニュー画面例の説明

- ① メインメニューアイコン
- ② カーソル
- ③ サブメニュー

サブメニューにカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押すと、下の階層のメニューを表示します。

4-1-2. 確認メッセージ

調整値をリセットする場合などに確認メッセージが表示されます。

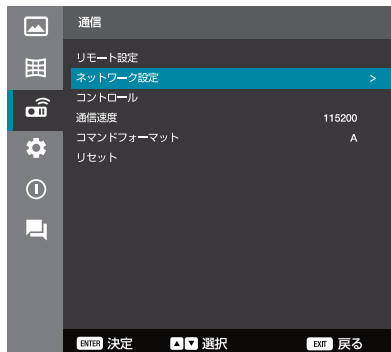
◀ / ▶ ボタンを押して、「はい」または「いいえ」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押します。



4-1-3. 数字の変更

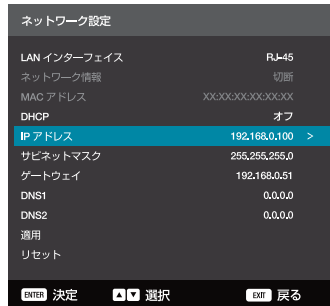
メニューのネットワーク設定において、工場出荷時の IP アドレスやサブネットマスクなどを変更する場合について説明します。

1. MENU ボタンを押してオンスクリーンメニューを表示する。
2. ▼ / ▲ ボタンで「通信」アイコンにカーソルを合わせ、▶ または ENTER ボタンを押す。
サブメニューにカーソルが移動します。
3. ▼ / ▲ ボタンを押して「ネットワーク設定」にカーソルを合わせ、▶ または ENTER ボタンを押す。
ネットワーク設定メニューが表示されます。



4. ▼ / ▲ ボタンを押して「IP アドレス」にカーソルを合わせ、▶ または ENTER ボタンを押す。

IP アドレス設定画面が表示されます。



5. ▼ / ▲ ボタンを押して数値を変更し、◀ / ▶ ボタンを押す。

カーソルが IP アドレスの隣りの入力欄に移動します。



6. 手順 5 を繰り返し、IP アドレスを変更する。

7. IP アドレスの変更が終わったら、ENTER ボタンを押す。

ネットワーク設定メニューに戻ります。

8. 同様に操作して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」「DNS1/2」を設定する。

9. ▼ / ▲ ボタンを押して「適用」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

[注意]

- 「DHCP」が「オン」になっているときは「IP アドレス」を選択できません。
その場合は次のように操作して「DHCP」を「オフ」に変更してください。
 - ① 「DHCP」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。
 - ② ▼ / ▲ ボタンを押して「オフ」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

4-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メインメニュー		サブメニュー・設定値		参照ページ	
映像 	カラーモード	プレゼンテーション、HDR、HLG、シネマ、sRGB、高輝度、DICOM SIM.、3D、ハイフレームレート		70	
	明るさ	0 ～ 50 ～ 100			
	コントラスト	0 ～ 50 ～ 100			
	彩度	0 ～ 50 ～ 100			
	色合い	0 ～ 50 ～ 100			
	シャープネス	1 ～ 8 ～ 15		71	
	ガンマ	グラフィック、1.8、2.0、2.2、2.4、2.6、3D、黒板、DICOM SIM.、HDR			
	ホワイトバランス	色温度	ウォーム、 スタンダード 、クール		
		赤ゲイン	0 ～ 50 ～ 100		
		緑ゲイン	0 ～ 50 ～ 100		
		青ゲイン	0 ～ 50 ～ 100		
		赤オフセット	0 ～ 50 ～ 100		
		緑オフセット	0 ～ 50 ～ 100		
		青オフセット	0 ～ 50 ～ 100		
アドバンスカラー	カラースペース	自動、RGB(0-255)、RGB(16-235)、YUV		72	
	壁色補正	オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレー			
	色補正	色の濃さ（赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄、白）			
		色合い（0 ～ 127 ～ 254）			
		彩度（0 ～ 146 ～ 254）			
		輝度（0 ～ 134 ～ 254）			
		リセット			

メインメニュー	サブメニュー・設定値		参照ページ
映像 (つづき)	アドバンスイメージ	ダイナミックコントラスト	ダイナミックブラック (オフ、オン)
			エクストリームブラック (オフ、オン)
		ダイナミックレンジ	HDR (オフ、自動)
			HDR 輝度
		3D 設定	3D モード (オフ、オン)
			3D 映像フォーマット (自動、Frame Packing、SBS、Top and Bottom、Frame Sequential)
			3D 同期反転 (オフ、オン)
			リセット
	リセット		75
ディスプレイ 	レンズ	フォーカス	
		ズーム	
		レンズシフト	
		レンズメモリー	保存 (メモリー 1 ~ 5)
			適用 (メモリー 1 ~ 5)
			消去 (メモリー 1 ~ 5)
		レンズキャリブレーション	
		レンズのロック	オフ、オン
		リセット	
	アスペクト比	4:3、16:9、21:9、レターボックス、自動	
	スケール	デジタルズーム	80 ~ 100 ~ 180
		イメージシフト	H 0 ~ 50 ~ 100
			V 0 ~ 50 ~ 100

メインメニュー	サブメニュー・設定値		参照ページ	
ディスプレイ (つづき)	幾何学補正	垂直台形補正	0 ～ 20 ～ 40	77
		水平台形補正	0 ～ 20 ～ 40	
		4 点補正	▲▼◀▶	
		ワーピング	オフ、オン	
		ワーピング調整		
		グリッドカラー	緑、マゼンタ、赤、シアン	
		リセット		
オンスクリーン ディスプレイ	メニュー位置	中央、左上、右上	78	
	メニュータイマー	オフ、5s、10s、20s、30s、60s		
	情報を表示しない	オフ、オン		
バックグラウンド	青、黒			
信号	自動信号判別	オフ、オン		
	クイック再起動	オフ、オン		
	入力信号	HDMI1、HDMI2、HDBaseT		
	EDID 設定	HDMI 1 EDID (1.4、2.0)		
		HDMI 2 EDID (1.4、2.0)		
		HDBaseT EDID (1.4、2.0)		
リセット				
オリエンテーション	天吊り	自動、オン、オフ	79	
	リア投写	オフ、オン		
テストパターン	オフ、緑色グリッド、マゼンタ色グリッド、白色グリッド、白、黒、赤、緑、青、黄、マゼンタ、シアン、ANSI コントラスト 4X4、カラーバー、フォーカス		80	
リセット				

メインメニュー		サブメニュー・設定値		参照ページ	
通信 	リモート設定	リモートコード	0 ～ 99	81	
		リモートロック	オフ、1 ～ 9		
		リモコン受光部設定	フロント (オフ、オン)、 トップ (オフ、オン)、 HDBaseT (オフ、オン)		
		ユーザー 1	カラーモード、AV ミュート、 色温度、オリエンテーション、 アスペクト比、フリーズ、ネット ワーク設定、オーディオ ミュート、オンスクリーン ディスプレイ	82	
		ユーザー 2	カラーモード、AV ミュート、 色温度、オリエンテーション、 アスペクト比、フリーズ、ネット ワーク設定、オーディオ ミュート、オンスクリーン ディスプレイ		
		ユーザー 3	カラーモード、AV ミュート、 色温度、オリエンテーション、 アスペクト比、フリーズ、ネット ワーク設定、オーディオ ミュート、オンスクリーン ディスプレイ		
	ネットワーク設定	LAN インターフェイス	RJ-45、HDBaseT		83
		ネットワーク情報	接続、切断 (表示のみ)		
		MAC アドレス	(表示のみ)		
		DHCP	オフ、オン		
		IP アドレス	192.168.0.100		
		サブネットマスク	255.255.255.0		
		ゲートウェイ	192.168.0.51		
		DNS 1	0.0.0.0		
		DNS 2	0.0.0.0		
		適用			
		リセット			
	コントロール	Crestron	オフ、オン		
		PJLink	オフ、オン		
		AMX	オフ、オン		
		HTTP	オフ、オン		
	通信速度	9600、19200、38400、57600、115200			
	コマンドフォーマット	A、B			
	リセット				

メインメニュー	サブメニュー・設定値		参照ページ
システム 	スタンバイモード	ノーマルスタンバイ、ネットワークスタンバイ、スリープ	
	電源設定	ダイレクトパワーオン	オフ、オン
		オートパワーオン	オフ、オン
		オートパワーオフ（分）	0 ～ 20 ～ 180
		オフタイマー（分）	0 ～ 960
	光源設定	ライトモード	標準、エコ、輝度一定モード、電力一定モード
		輝度レベル	10% ～ 100%
	本体キー照明設定	オフ、オン	
	セキュリティ	セキュリティ	オフ、オン
		セキュリティタイマー	月（0 ～ 35）
			日（0 ～ 29）
			時（0 ～ 23）
		パスワード変更	
	12V トリガー	オフ、オン	
	高地モード	オフ、オン	
	オーディオ設定	音量	0 ～ 5 ～ 10
		ミュート	オフ、オン
		オーディオ出力	自動、内蔵スピーカー、ライン出力
		リセット	
	ユーザーデータ	すべての設定を保存	メモリー 1、メモリー 2、メモリー 3、メモリー 4、メモリー 5
		すべての設定を読み込む	メモリー 1、メモリー 2、メモリー 3、メモリー 4、メモリー 5
	リセット	OSD 設定のリセット	
		すべてのリセット	
	サービス	注：お客様は使用できません。	

メインメニュー	サブメニュー・設定値		参照ページ
情報 	プロジェクター	Model Name	
		Serial Number	
	システムステータス	スタンバイモード	
		Total projection Hours	
		Light Source Hours	
		周囲温度	
		システム温度	
	コントロール	リモートコード	
		Crestron	
		PJLink	
		AMX	
		HTTP	
	通信	LAN インターフェイス	
		MAC アドレス	
		ネットワーク情報	
		DHCP	
		IP アドレス	
		サブネットマスク	
		ゲートウェイ	
		DNS 1	
		DNS 2	
	信号	入力信号	
		解像度	
		信号形式	
		ピクセルクロック	
		水平リフレッシュ	
		垂直リフレッシュ	
		カラースペース	
	FW バージョン	メインバージョン	
		F-MCU Version	
		A-MCU Version	
		LAN バージョン	
		フォーマットバージョン	
		HDBaseT バージョン	

91

92

メインメニュー	サブメニュー・設定値	参照ページ
言語 	English 、Deutsch、Français、Italiano、Español、Svenska、한국어、Polski、Magyar、Русский、Ελληνικά、Türkçe、Português、عربي、čeština、繁體中文、Norsk、Nederlands、日本語、简体中文、ไทย	92

4-3. 映像

4-3-1. カラーモード

投写した映像に最適な設定を選択します。

プレゼンテーション	PowerPoint などでプレゼンテーションするときに適した設定にします。
HDR	ハイダイナミックレンジ (HDR) コンテンツをデコードして表示します。鮮やかな映画のような色を再現します。
HLG	ハイブリッドログガンマ (HLG) コンテンツをデコードして表示します。鮮やかな映画のような色を再現します。
シネマ	映画を投写するときに適した設定にします。
sRGB	sRGB に準拠した色が再現されます。
高輝度	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
DICOM SIM.	医療業界で用いられている DICOM 規格に近似した設定にします。
3D	3D 映像を投写するときに適した設定にします。
ハイフレームレート	ハイフレームレート (HFR) コンテンツを投写するときに適した設定にします。

【注意】

- HDR 信号、HLG 信号、3D 信号、ハイフレームレート信号を入力した場合、自動的に「HDR」、「HLG」、「3D」、「ハイフレームレート」が選択され、他のモードは選択できません。
- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM 規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

【参考】

- 3D 映像を視聴するには、DLP® Link に対応したコンテンツと 3D メガネが必要です。

4-3-2. 明るさ、コントラスト、彩度、色合い、シャープネス

コンピューター入力信号について、次の調整を行います。

明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
彩度	色を濃くしたり、淡くします。

色合い	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。

4-3-3. ガンマ

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。
カラーモードの設定に応じて、ガンマの設定が変わります。

グラフィック	コンピューターや写真を投写するときに最適な設定です。
1.8	ガンマの値を「1.8/2.0/2.2/2.4/2.6」に設定します。標準的なガンマの値は「2.2」です。 一般に、値が小さいほど、画像の暗い部分が明るくなります。
2.0	
2.2	
2.4	
2.6	
3D	3D 映像を投写するときに適した設定です。
黒板	黒板に投写するときに適した設定です。
DICOM SIM.	カラーモードで DICOM SIM. を選択したときに適した設定です。
HDR	カラーモードで「HDR」を選択したときに適した設定です。

4-3-4. ホワイトバランス

色温度	色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。 「クール」を選択すると青みがかった白になり、「ウォーム」を選択すると赤みがかった白になります。
赤ゲイン	赤、緑、青の各色について、明るさを調整します。
緑ゲイン	
青ゲイン	
赤オフセット	赤、緑、青の各色について、暗さを調整します。
緑オフセット	
青オフセット	

[注意]

- カラーモードにおいて、3D およびハイフレームレートが選択されている場合、色温度は使用できません。
- 色差信号 (YCbCr など) の映像を表示しているときは、赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲインは使用できません。

4-3-5. アドバンスカラー

カラースペース	投写した映像の色がおかしいときに、接続している映像機器に応じて設定を切り替えます。	
壁色補正	映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。	
色補正	色の濃さ	調整する色（赤 → 緑 → 青 → シアン → 黄 → マゼンタ → 白 →）を切り替えます。 「白」を選択すると「色合い / 彩度 / 輝度」のメニューは「赤 / 緑 / 青」に変わります。
	色合い	下記の表をご覧ください。
	彩度	
	輝度	
	リセット	色補正の調整値を本機の工場出荷時の状態に戻します。

色補正

赤	色合い	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると黄色よりに変化し、「-」方向へ移動するとマゼンタよりに変化します。
	彩度	赤色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
	輝度	赤色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗くなります。
緑	色合い	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとシアンよりに変化し、「-」方向へ移動すると黄色よりに変化します。
	彩度	緑色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
	輝度	緑色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗くなります。

青	色合い	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとマゼンタよりに変化し、「-」方向へ移動するとシアンよりに変化します。
	彩度	青色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
	輝度	青色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗くなります。
シアン (明るい 青緑)	色合い	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「-」方向へ移動すると緑よりに変化します。
	彩度	シアンの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
	輝度	シアンの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗くなります。
黄	色合い	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「-」方向へ移動すると赤よりに変化します。
	彩度	黄色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
	輝度	黄色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗くなります。
マゼンタ (紫)	色合い	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「-」方向へ移動すると青よりに変化します。
	彩度	マゼンタの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くなります。
	輝度	マゼンタの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗くなります。
白	赤	「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「-」方向へ移動するとシアンよりに変化します。
	緑	「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「-」方向へ移動するとマゼンタよりに変化します。
	青	「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「-」方向へ移動すると黄よりに変化します。

4-3-6. アドバンスイメージ

ダイナミック コントラスト	ダイナミック コントラストを設定して、暗いコンテンツのコントラストを最大化します。	
	ダイナミックブラック	入力信号に応じて明るさを自動的に調整し、最適なコントラストで投写します。
	エクストリームブラック	黒い画像が検出されたときにレーザー光がオフになり、コントラスト比が自動的に上がります。
	【注意】 ● ダイナミックブラックを選択するとエクストリームブラックは選択できません。また、エクストリームブラックを選択するとダイナミックブラックは選択できません。	
ダイナミックレンジ	4K ブルーレイプレーヤーやストリーミングからビデオを表示するときのHDR（ハイダイナミックレンジ）の効果を再現します。	
	HDR	オフ：HDR 処理をオフにします。オフに設定すると、本機は HDR を検出しません。 自動：HDR 信号を自動検出します。
	HDR 輝度	HDR の明るさを調整します。
3D 設定	3D 映像を視聴するときの設定をします。	
	3D モード	3D モードのオフ / オンを切り替えます。
	3D 映像フォーマット	3D 映像のフォーマット（記録／伝送方式）を選択します。 3D 放送や 3D 媒体に合わせた選択をします。通常は「自動」を選択します。フォーマットの 3D 検出信号が判別できないときは、3D 入力信号のフォーマットを選択してください。
	3D 同期反転	左映像と右映像の表示順を反転します。「オフ」で 3D 表示に違和感がある場合「オン」を選択します。
	リセット	3D 設定の値を工場出荷状態に戻します。

[注意]

- DLP® Link 方式の 3D メガネは、3D 映像信号に含まれる同期信号がスクリーンに反射したところを受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、3D 映像が観づらくなることがあります。
 - ブルーレイプレーヤーの取扱説明書に記載されている動作条件を確認してください。
 - 3D 映像のソフトをコンピューターで再生する場合、コンピューターの CPU やグラフィックスチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピューターの動作条件を確認してください。
 - 本機は、HDMI1/HDMI2 端子経由のフレームシーケンシャル (ページフリップ) 3D に対応しています。
 - 3D モードを有効にするには、入力フレームレートを 60 Hz に設定する必要があります。これより低いまたは高いフレームレートはサポートしていません。
 - 本機の 3D モードは、解像度 1920 x 1080 を推奨します。4K (3840 x 2160) 解像度は、3D モードに対応していません。
-

4-3-7. リセット

映像の設定値を工場出荷状態に戻します。

4-4. ディスプレイ

4-4-1. レンズ

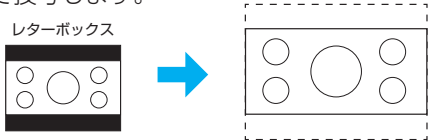
レンズを制御して、投写した映像を調整します。

フォーカス	▲ / ▼ ボタンを押して、投写画面のフォーカスを調整します。
ズーム	▲ / ▼ ボタンを押して、投写画面の大きさを調整します。
レンズシフト	▲▼◀▶ ボタンを押して、投写画面の位置を調整します。
レンズメモリー	レンズシフトの調整値を、レンズメモリー 1 ～ 5 に保存します。必要 なときにレンズメモリー 1 ～ 5 の中から呼び出すと、メモリーに保存 されている調整値で、レンズシフトが調整されます。
レンズキャリブ レーション	レンズキャリブレーションを行うことにより、レンズシフトの調整位 置を初期状態に戻します。
レンズのロック	レンズのロックを有効にすると、フォーカス、ズーム、レンズシフト、 レンズキャリブレーション、レンズメモリーは使用できなくなります。 レンズのロックが有効になっているときは、画面の右上にアイコンが 表示されます。 
リセット	レンズの調整または設定値を工場出荷状態に戻します。

4-4-2. アスペクト比

画面の縦横の比率を選択します。

本機の出荷状態は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。

4:3	4 : 3 のサイズで投写します。
16:9	16 : 9 のサイズで投写します。
21:9	21 : 9 のサイズで投写します。
レターボックス	レターボックスの信号が適切に投写されるように縦方向、横方向を均 等に拡大して投写します。 
自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、適切なアスペクト比を選択してください。

[参考]

- コンピューターの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度		アスペクト比
VGA	640 × 480	4 : 3
SVGA	800 × 600	4 : 3
XGA	1024 × 768	4 : 3
WXGA	1280 × 768	15 : 9
HD (FWXGA)	1366 × 768	約 16 : 9
WXGA	1280 × 800	16 : 10
WXGA+	1440 × 900	16 : 10
HD+ (WXGA++)	1600 × 900	16 : 9
SXGA	1280 × 1024	5 : 4
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10
FHD (1080P)	1920 × 1080	16 : 9
UXGA	1600 × 1200	4 : 3
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10
4K UHD	3840 × 2160	16 : 9
4K2K	4096 × 2160	17 : 9

4-4-3. スケール

デジタルズーム	投写している画面内の画像を 80% から 180% の範囲で拡大縮小します。
イメージシフト	▼▲◀▶ ボタンを押して、投写範囲を移動します。

4-4-4. 幾何学補正

投写している画面の台形歪みを補正します。

垂直台形補正	◀ / ▶ ボタンを押して、垂直方向の台形歪みを調整します。
水平台形補正	◀ / ▶ ボタンを押して、水平方向の台形歪みを調整します。
4 点補正	投写画面の 4 つの角について、各々▼▲◀▶ ボタンを押して台形歪みを調整します。
ワーピング	ワーピングのオンとオフを切り替えます。
ワーピング調整	曲面に投写したとき、画面の 15 箇所の点を上下左右に移動することにより湾曲した歪みを調整します。
グリッドカラー	ワーピングを使って台形歪みを調整するときの画面に表示される 15 箇所の点の色を変更します。
リセット	幾何学補正した状態を工場出荷状態に戻します。

4-4-5. オンスクリーンディスプレイ

メニュー位置	オンスクリーンメニューの表示位置（中央、左上、右上）を変更します。
メニュータイマー	メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間（秒）を選択します。 「オフ」を選択すると、メニューを表示し続けます。
情報を表示しない	「オン」を選択すると、画面の角に表示される入力端子などを表示しません。 本機の工場出荷時は「オフ」（表示する）に設定されています。

4-4-6. バックグラウンド

入力信号がないときの背景色（青、黒）を選択します。

4-4-7. 信号

自動信号判別	オンを選択すると、入力された信号を自動的に判別して投写します。 オフを選択しているときは、リモコンの HDMI1 ボタン、HDMI2 ボタン、または HDBaseT ボタンを押して入力信号を選択してください。 または、下記の「入力信号」で投写する入力端子を選択してください。	
クイック再同期	「オン」を選択すると、入力信号の再同期を早めることができます。	
入力信号	投写する入力端子（HDMI 1、HDMI 2、HDBaseT）を選択します。	
EDID 設定	HDMI 1/2 入力端子および HDBaseT ポートの対応信号モード（EDID バージョン）を切り替えます。	
	1.4	標準的な映像信号に対応します。
	2.0	4K の映像信号に対応します。4K の映像に対応している機器を使用して、4K の映像を表示するときに設定します。
リセット	信号の設定値を工場出荷状態に戻します。	

4-4-8. オリエンテーション

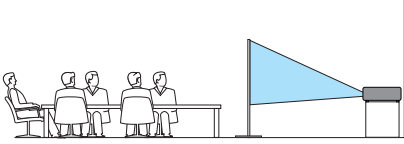
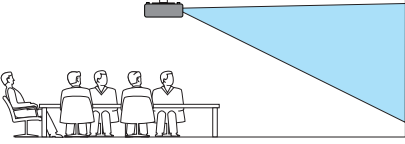
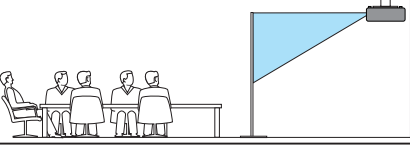
本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

天吊りで「自動」を選択すると、内蔵の角度センサーがプロジェクターの角度を自動的に検出して、天吊りのオン/オフを切り替えます。



警告

天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

【天吊り】 オフ（または自動） 【リア投写】 オフ	プロジェクターをテーブル上に設置し、スクリーンの正面で投写する場合。 
【天吊り】 オフ（または自動） 【リア投写】 オン	プロジェクターをテーブル上に設置し、スクリーンの背面で投写する場合（半透明のスクリーンを使用）。 
【天吊り】 オン（または自動） 【リア投写】 オフ	天吊り金具（市販）を使用してスクリーンの正面でプロジェクターを高い位置に設置する場合。 
【天吊り】 オン（または自動） 【リア投写】 オン	天吊り金具（市販）を使用してスクリーンの背面でプロジェクターを高い位置に設置する場合（半透明のスクリーンを使用）。 

4-4-9. テストパターン

プロジェクター設置時の画面の歪み状態の確認、フォーカスの調整、または色合いを調整する際に表示します。

4-4-10. リセット

ディスプレイの設定値を工場出荷状態に戻します。

4-5. 通信

4-5-1. リモート設定

リモコンに関する設定をします。

リモートコード	複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。 また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。							
リモートロック		アイコンの中の数字は、リモートロックの番号を表しています。 左のアイコンは「1」の場合です。 リモートロックを解除するときは、もう一度リモコンの数字ボタン（1～9）を押します。 【注意】 ● リモートロックで 1～3 を選んでいる場合、入力切替（HDMI1、HDMI2、HDBaseT）よりもリモートロックが優先されます。						
リモコン受光部設定	<table><tr><td>フロント</td><td>前面のみのリモコン受光部を有効にします。</td></tr><tr><td>トップ</td><td>上面のみのリモコン受光部を有効にします。</td></tr><tr><td>HDBaseT</td><td>市販の HDBaseT 伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定し、リモコンを使って本機を操作する場合に選択します。</td></tr></table> 【注意】 ● 「フロント」と「トップ」を同時に「オン」にすることはできません。		フロント	前面のみのリモコン受光部を有効にします。	トップ	上面のみのリモコン受光部を有効にします。	HDBaseT	市販の HDBaseT 伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定し、リモコンを使って本機を操作する場合に選択します。
フロント	前面のみのリモコン受光部を有効にします。							
トップ	上面のみのリモコン受光部を有効にします。							
HDBaseT	市販の HDBaseT 伝送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定し、リモコンを使って本機を操作する場合に選択します。							

ユーザー 1
ユーザー 2
ユーザー 3

リモコンの USER1/2/3 ボタンに割り当てる機能やメニューを選択します。本機の工場出荷時は、各ボタンに次の機能が割り当てられています。

USER1 ボタン	A/V ミュート
USER2 ボタン	フリーズ
USER3 ボタン	オーディオミュート

以下の機能やメニューから選んで割り当てることができます。
カラーモード、A/V ミュート、色温度、オリエンテーション、アスペクト比、フリーズ、ネットワーク設定、オーディオミュート、オンスクリーンディスプレイ

【参考】

- フリーズ（静止）またはオーディオミュート（消音）が有効になっているときは画面の右上にアイコンが表示されます。

4-5-2. ネットワーク設定

LAN に接続するための設定をします。

LAN インターフェイス	ネットワークと接続する本機のポートを LAN ポート（RJ-45）にするか、HDBaseT ポートにするかを選択します。				
ネットワーク情報	ネットワークに接続しているか、切断しているかを表示します。（表示のみで選択できません。）				
MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。（表示のみで選択できません。）				
DHCP	<table border="1"> <tr> <td>オン</td><td>DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。</td></tr> <tr> <td>オフ</td><td>ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを手動で設定します。</td></tr> </table>	オン	DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。	オフ	ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを手動で設定します。
オン	DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。				
オフ	ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを手動で設定します。				
IP アドレス	本機の IP アドレスを設定します。 DHCP をオンに設定すると、IP アドレスは自動的に割り振られます。				
サブネットマスク	本機のサブネットマスクを設定します。 DHCP をオンに設定すると、サブネットマスクは自動的に割り振られます。				
ゲートウェイ	本機のゲートウェイを設定します。 DHCP をオンに設定すると、ゲートウェイは自動的に割り振られます。				

DNS 1 / DNS 2	本機の DNS アドレスを設定します。 DHCP をオンに設定すると、DNS アドレスは自動的に割り振られます。
適用	ネットワーク設定の変更を適用します。 設定を変更したときは、必ず「適用」を実行してください。
リセット	ネットワーク設定の内容を工場出荷状態に戻します。

4-5-3. コントロール

本機を制御する機器やサービスを選択します。

本機の工場出荷状態は、Crestron、PJLink、AMX、HTTP がすべて選択させています。

Crestron	Crestron 社製のコントローラーと関連ソフトウェアを使用してプロジェクターを制御します。(ポート: 41794) 詳細については、 https://www.crestron.com/ をご覧ください。
PJLink	PJLink Class 2 のコマンドでプロジェクターを制御します。(ポート: 4352) 詳細については、一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会のホームページ https://pjlink.jbmia.or.jp/ をご覧ください。
AMX	AMX 社製の機器を接続してプロジェクターを制御します。(ポート: 9131) 詳細については、 http://www.amx.com をご覧ください。
HTTP	プロジェクターとコンピューターをネットワークで接続し、ウェブブラウザを使ってプロジェクターを制御します。(ポート: 80) 詳しくは「6. ネットワークに接続する」(→ 96 ページ) をご覧ください。

4-5-4. 通信速度

本機の RS232 端子のデータ転送速度を設定します。接続する機器と転送速度を合わせてください。

4-5-5. コマンドフォーマット

コンピューターを本機の RS232 端子に接続して本機を制御するときのコマンドのフォーマットを切り替えます。

4-5-6. リセット

通信の設定内容を工場出荷状態に戻します。

4-6. システム

4-6-1. スタンバイモード

本機の電源を切ったあとの状態を設定します。

ノーマル スタンバイ	このモードでは電力消費量は「ネットワーク スタンバイ」または「スリープ」モードよりも低くなりますが、このモードを選択すると LAN ポートおよび HDBaseT ポートで本機を制御できません。 本機の電源をオンするには、本体背面またはリモコンの電源ボタンを押してください。
ネットワーク スタンバイ	このモードの電力消費量は「ノーマル」モードよりは高くなりますが、LAN を介して「Wake on LAN」機能を使用するとスタンバイ状態から本機の電源をオンにできます。 「Wake on LAN」機能の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
スリープ	このモードの電力消費量は「ネットワークスタンバイ」モードより高くなりますが、制御用のソフトウェアを使用してプロジェクターの電源をオンにできます。

[参考]

- スタンバイモードの設定状態は、本機がスタンバイ状態のときの電源インジケータの点灯または点滅で確認できます。詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(→ [122 ページ](#))

4-6-2. 電源設定

電源の入／切に関して設定します。

ダイレクト パワーオン	本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。 本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。				
	<table border="1"> <tr> <td>オフ</td><td>AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。</td></tr> <tr> <td>オン</td><td>AC 電源が供給されると自動的に電源が入ります。</td></tr> </table>	オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。	オン	AC 電源が供給されると自動的に電源が入ります。
オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。				
オン	AC 電源が供給されると自動的に電源が入ります。				
オート パワーオン	「オン」に設定すると、本機がスタンバイ状態のとき、HDMI 1 入力、HDMI 2 入力、または HDBaseT 入力の信号を検知すると自動的に投写します。 [注意] ● HDBaseT 入力信号は、スタンバイモードが「スリープ」に設定されているときに有効です。				

オート パワーオフ (分)	設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。 自動的に電源を切るまでの時間は、1 分から 180 分まで設定できます。0 分を設定すると、オートパワーオフを実行しません。 本機の工場出荷時は、20 分に設定されています。
オフタイマー (分)	オフタイマーを設定しておく、と、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。 設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。 自動的に電源を切るまでの時間は、30 分から 960 分まで設定できます。 0 分を設定すると、オフタイマーを実行しません。 本機の工場出荷時は、0 分に設定されています。 オフタイマーで設定した時間は、プロジェクターの電源を切っても記憶しています。

[参考]

- オートパワーオフ、オフタイマー、セキュリティタイマーなどで指定された時間に達する 1 分前になると、プロジェクターが 60 秒後にシャットダウンすることを警告するメッセージが画面上に表示されます。

4-6-3. 光源設定

省エネの設定やマルチスクリーン投写時の各プロジェクター間の輝度合わせの調整をします。輝度レベルを任意に変えたい場合は、「輝度一定モード」または「電力一定モード」を使用してください。

ライトモード	標準	輝度レベルが 100% に固定されます。
	エコ	輝度レベルが 50% に固定されます。 輝度とファンを制御することで動作音が小さくなり消費電力も下がります。
	輝度一定モード	輝度レベルで設定した明るさを一定に保つように制御します。輝度レベルの調整範囲は、80% から 50% です。
	電力一定モード	輝度レベルで設定した明るさで投写します。輝度レベルの調整範囲は、100% から 10% です。 輝度レベルに応じて消費電力も下がりますが、本機の使用時間の経過に応じて明るさは変化します。

ライトモード	[注意] ● 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になりません。
輝度レベル	ライトモードで「輝度一定モード」および「電力一定モード」を選択したときに、輝度レベルを調整します。 「標準」または「エコ」を選択したとき、輝度レベルは選択できません。

4-6-4. 本体キー照明設定

本体の背面にある操作ボタンの文字を光らせるか光らせないかを選択します。

4-6-5. セキュリティ

セキュリティパスワード（4桁の数字）を登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティパスワード入力画面が表示され、正しいセキュリティパスワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティの設定を変更するときは、任意のセキュリティパスワード（4桁の数字）設定する必要があります。

ここでは、例として「1234」をセキュリティパスワードとして設定する手順を説明します。

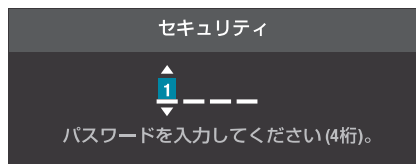
セキュリティ	オンとオフを切り替えます。
セキュリティタイマー	次回セキュリティパスワード入力画面を表示するまでの時間（X か月後 + Y 日後 + Z 時間後）を設定します。
パスワード変更	セキュリティパスワードを変更します。

● セキュリティを「オン」にする

1. オンスクリーンメニューの「システム」→「セキュリティ」→「セキュリティ」を選択する。
パスワード入力画面が表示されます。



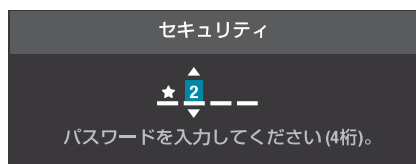
2. ▲ / ▼ ボタンを押して「1」を表示する。



3. ▶ ボタンを押す。
2桁目に「0」が表示されます。



4. ▲ / ▼ ボタンを押して「2」を表示する。



5. ▶ ボタンを押す。
3桁目に「0」が表示されます。



6. ▲ / ▼ ボタンを押して「3」を表示する。



7. ▶ ボタンを押す。
4桁目に「0」が表示されます。

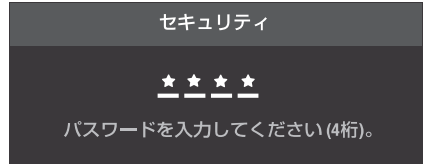


8. ▲ / ▼ ボタンを押して「4」を表示する。



9. ▶ ボタンを押す。

4桁すべてに「★」が表示されます。



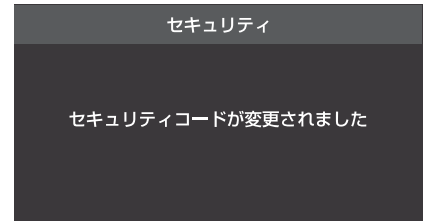
10. ENTER ボタンを押す。

「新しいパスワードを入力し直してください」とメッセージが表示されます。

11. 手順2～10を参考に、任意の4桁のパスワードを入力する。

12. ENTER ボタンを押す。

「セキュリティコードが変更されました」とメッセージが表示されたあと、「オフ/オン」を選択する画面が表示されます。



15. ◀ / ▶ ボタンを押して「オン」を選択し、ENTER ボタンを押す。

セキュリティが「オン」になります。



【重要】

- セキュリティパスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。
- パスワードの入力を3回間違えると、自動的に本機の電源を切ります。
- パスワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- セキュリティパスワードを入力するときに、周囲の人にパスワードを盗み見られて悪用されないように、パスワードの入力に細心の注意を払ってください。
もし盗み見られたと思った場合は、速やかにパスワードを変更してください。

4-6-6. 12V トリガー

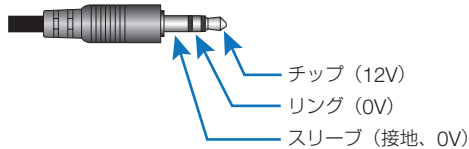
本機の 12V トリガー端子を有効にするか無効にするかを選択します。

【重要】

- スクリーントリガー端子は、スクリーンコントロール以外の目的では使用しないでください。誤ってリモコンケーブルを接続すると、リモコンが故障します。

【参考】

- 市販のステレオミニケーブルを使用して、本機のスクリーントリガー端子と、市販のスクリーンコントロール機器を接続します。詳しくは、スクリーン・メーカーにお問い合わせください。
- 本機のスクリーントリガー端子から出力される制御電圧は次のとおりです。



4-6-7. 高地モード

本機は気圧センサーを内蔵しており、設置する場所の標高に応じて自動的に「高地モード」が「オン」に切り替わります。高地モードがオンに切り替わると、冷却ファンが高速で回転します。

なお、標高が 1500 m を超えても高地モードがオンに切り替わらない場合は、手動で「高地モード」を「オン」に切り替えてください。

【注意】

- 標高約 1500 m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ず高地モードを「オン」に設定してください。「オン」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 高地モードを「オン」に設定しないまま、標高約 1500 m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、光源が消灯後内部の温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 高地で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。

4-6-8. オーディオ設定

音量	本機の内蔵スピーカーや音声出力端子から出る音量を調整します。
ミュート	一時的に音声がでないようにします。 ミュートが有効になっているときは、画面の右上にアイコンが表示されます。 
オーディオ出力	内蔵スピーカーから音声を出すか、音声出力端子から音声を出すかを選択します。
リセット	オーディオ設定を工場出荷時の設定に戻します。

4-6-9. ユーザーデータ

本機の設定値や調整値を、5つの内部メモリーに保存し、呼び出すことができます。

4-6-10. リセット

OSD 設定のリセット	オンスクリーンメニューの設定値や調整値を工場出荷時の値に戻します。 ただし、以下の設定値や調整値は変わりません。 幾何学補正、ネットワーク設定、スタンバイモード、本体キー照明設定
すべてのリセット	オンスクリーンメニューのすべての設定値や調整値を工場出荷時の値に戻します。

4-6-11. サービス

このメニューはサービスマン専用です。お客様は使用できません。

4-7. 情報

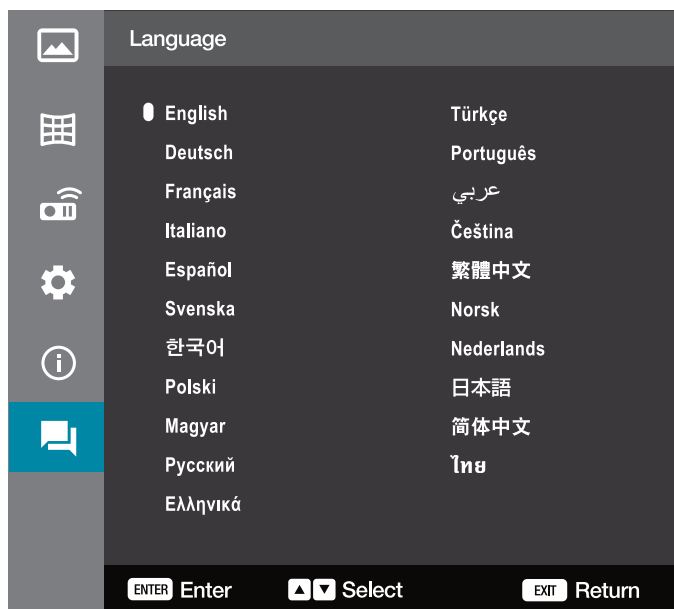
本機の状態や情報を表示します。

プロジェクター	Model Name	
	Serial Number	
システムステータス	スタンバイモード	
	Total projection Hours	
	Light Source Hours	
	周囲温度	
	システム温度	
コントロール	リモートコード	
	Crestron	
	PJLink	
	AMX	
	HTTP	
通信	LAN インターフェイス	
	MAC アドレス	
	ネットワーク情報	
	DHCP	
	IP アドレス	
	サブネットマスク	
	ゲートウェイ	
	DNS 1	
	DNS 2	
信号	入力信号	
	解像度	
	信号形式	
	ピクセルクロック	
	水平リフレッシュ	
	垂直リフレッシュ	
	カラースペース	
FW バージョン	メインバージョン	
	F-MCU Version	
	A-MCU Version	
	LAN バージョン	

	フォーマットバージョン	
	HDBaseT バージョン	

4-8. 言語

オンスクリーンメニューで表示する言語を選択します。



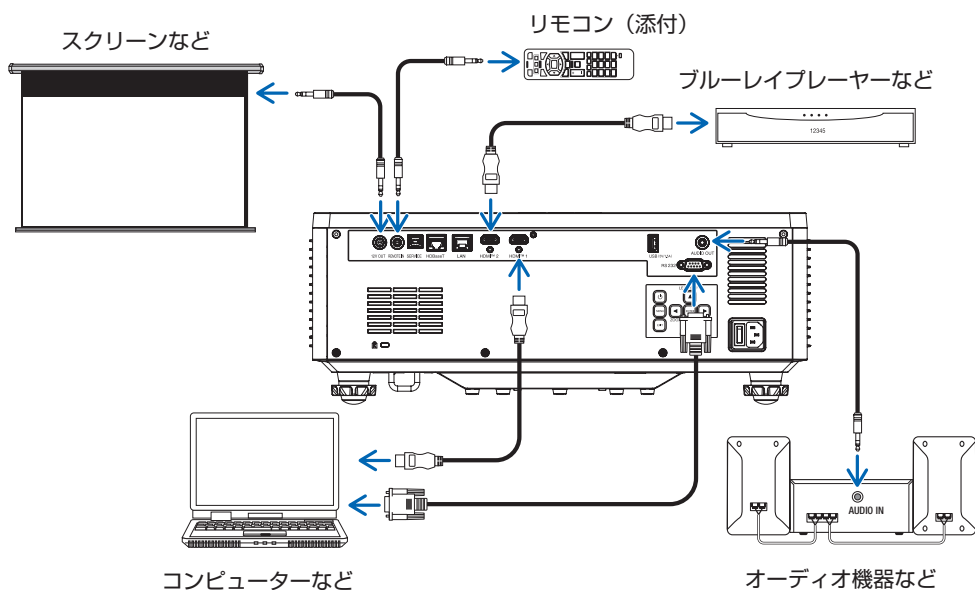
5. 機器と接続する

5-1. コンピューターや映像機器と接続する

外部機器との接続例です。

[注意]

- 市販の HDMI、LAN、RS-232C、オーディオケーブルはシールドタイプのケーブルを使用してください。
下記以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。



信号ケーブルに関する注意事項

HDMI ケーブル (市販)

- プレミアムハイスピード対応の HDMI ケーブルを使用してください。

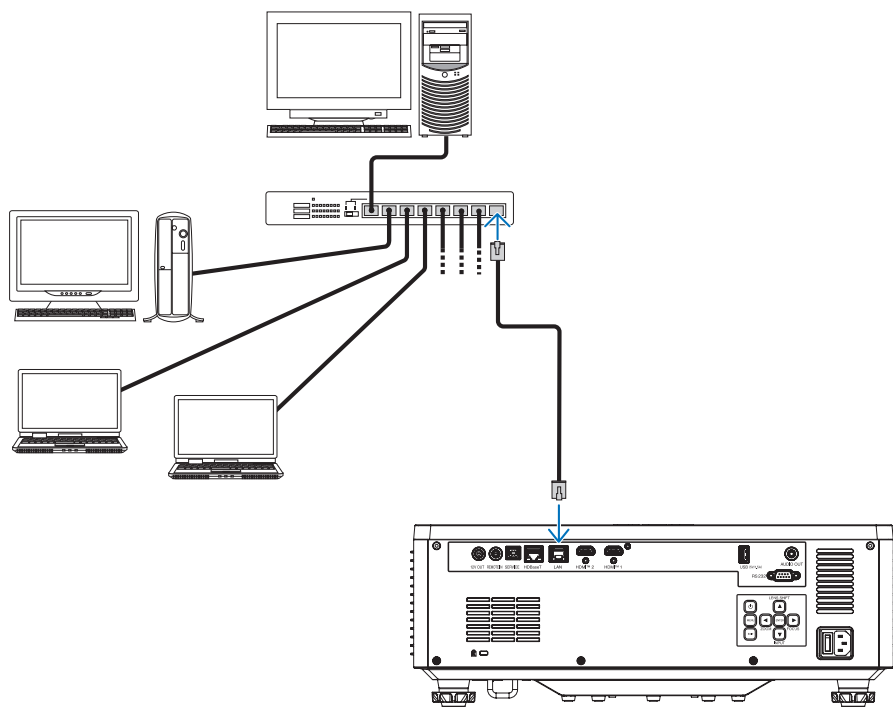
5-2. 有線 LAN と接続する

本機を有線 LAN に接続すると、HTTP サーバー機能を利用して、コンピュータでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。

詳しくは「6. ネットワークに接続する」(→ [96 ページ](#)) をご覧ください。

LAN ケーブルは、市販のカテゴリー 5e 以上のシールド付きツイストペア (STP) ケーブルを使用してください。

接続例

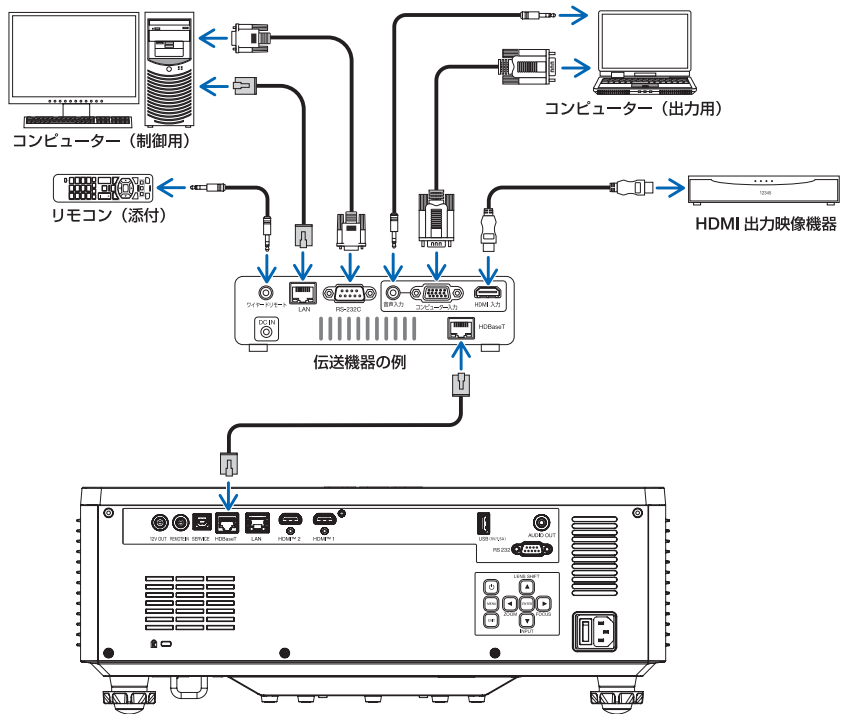


5-3. HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続する

HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。市販の LAN ケーブルを使って、本機の HDBaseT ポート（RJ-45）を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。

本機の HDBaseT ポートは、伝送機器からの HDMI 信号（HDCP 対応）、外部機器からのシリアル制御、リモコン信号（IR コマンド）に対応しています。

接続例



[注意]

- LAN ケーブル（市販）は、カテゴリ 6A のシールド付きツイストペア（STP）ケーブルを使用してください。
- LAN ケーブルで伝送可能な距離は、最長 100m です。
- HDBaseT の接続では、0.5m などの短い LAN ケーブルは使用できません。
- 本機と伝送装置との間に他の伝送装置を使用しないでください。画質が劣化することがあります。
- 本機は、市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器との接続を保証するものではありません。

6. ネットワークに接続する

6-1. ネットワークに接続してできること

- 有線 LAN で接続中のコンピュータのウェブブラウザを使って、本機の HTTP サーバーに接続し、本機を制御したりネットワーク設定をすることができます。
- 本機の HTTP サーバーでは、HTTP サーバーのログインパスワード変更、画像調整、画面調整、ネットワーク設定、Crestron control 設定、PJLink 設定などができます。
- 本機の HTTP サーバーでは、本機の動作について 1 週間（7 日間）のスケジュールを設定することができます。
- HTTP サーバー画面は英語でのみ表示されます。日本語では表示できません。

6-2. 本機の HTTP サーバーに接続する

準備

- 本機を有線 LAN に接続する場合は、LAN ケーブルを本機に接続してください。（→ [94 ページ](#)）
- 本機に設定するネットワークの情報（IP アドレスなど）は、お客様のネットワーク管理者にご相談願います。

6-2-1. 本機のネットワーク設定をする

1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。

2. ▲ / ▼ ボタンを押して「通信」アイコンにカーソルを合わせ、▶ または ENTER ボタンを押す。

「通信」のサブメニューにカーソルが表示されます。

3. ▲ / ▼ ボタンを押して「ネットワーク設定」にカーソルを合わせ、▶ または ENTER ボタンを押す。
ネットワーク設定メニューが表示されます。



4. ネットワークに接続するための設定をする。

- ネットワーク設定メニューについては、[82 ページ](#)をご覧ください。

5. 設定が終わったら、ネットワーク設定メニューの下から 2 番目にある「適用」にカーソルを合わせ、▶または ENTER ボタンを押す。

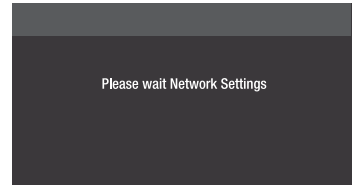
確認メッセージが表示されます。



6. ◀ / ▶ ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

「Please wait Network Settings」とメッセージが表示され、しばらくするとメッセージが消えます。

以上で、本機のネットワーク設定が終わりました。

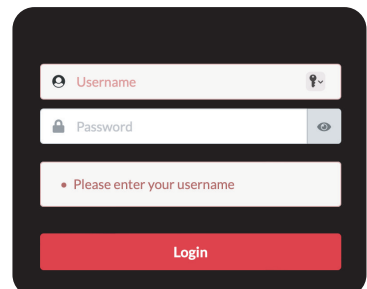


6-2-2. コンピューターのブラウザを使って、本機の HTTP サーバー画面を表示する

1. 本機とネットワークで接続しているコンピューターのウェブブラウザを起動する。
2. ウェブブラウザの URL 入力欄に「http:// 本機の IP アドレス」を入力し、ENTER キーを押す。

【入力例】 http://192.168.0.100

ウェブブラウザに Login 画面が表示されます。



3. 「Username」欄に「admin」と入力し、Login ボタンをクリックする。

Create Password (パスワード設定) 画面が表示されます。

(注) 最初に表示される Login 画面の「Password」欄は空欄にしてください。

admin

Password

Please enter your username

Login

3. 「New Password」欄に任意のパスワードを入力し、同じパスワードを「Repeat New Password」欄に入力し、Save ボタンをクリックする。

任意のパスワードが設定され、再び Login 画面に戻ります。

【注意】

入力したパスワードを他人に見られないように注意してください。

Create Password

You must create a new password and you need to login again.

Up to 20 or at least 4 with any combination of numeric, English or special character.

New Password

tuq8feg

Repeat New Password

tuq8feg

Save

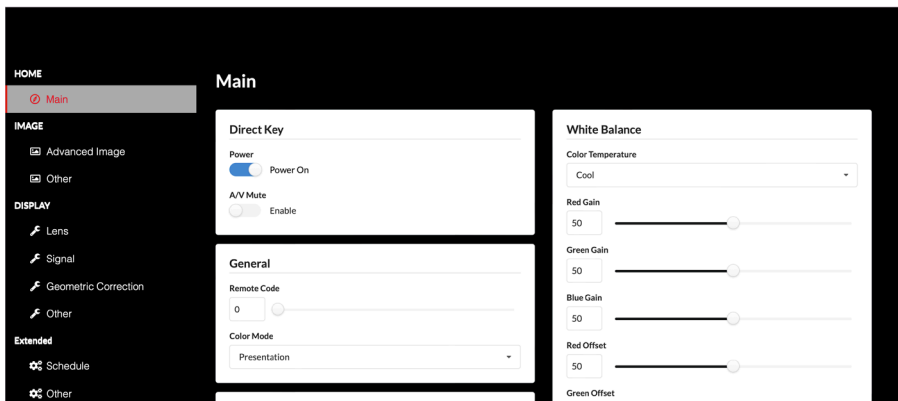
4. 「Username」欄に「admin」と入力し、「Password」欄に手順 3 で設定した任意のパスワードを入力し、Login ボタンをクリックする。

本機の HTTP サーバー画面が表示されます。

admin

.....

Login



HTTP サーバー画面の設定項目は次のとおりです。

トップタブ	サブタブ	メインメニュー	サブメニュー	補足
HOME	Main	Direct Key	Power	
			A/V Mute	
		General	Remote Code	
			Color Mode	
		Scale	Digital Zoom	
			Image Shift Horizontal	
			Image Shift Vertical	
		Geometric Correction	Keystone Horizontal	
			Keystone Vertical	
			4-Corner Top Left Horizontal	
			4-Corner Top Left Vertical	
			4-Corner Top Right Horizontal	
			4-Corner Top Right Vertical	
			4-Corner Bottom Left Horizontal	
			4-Corner Bottom Left Vertical	
			4-Corner Bottom Right Horizontal	
			4-Corner Bottom Right Vertical	
			Grid Color	
		Light Source Settings	Light Mode	
			Brightness Level (%)	
		3D Setup	3D Mode	
			3D Format	
			3D Sync Invert	
		White Balance	Color Temperature	
			Red Gain	
			Green Gain	
			Blue Gain	
			Red Offset	
			Green Offset	
			Blue Offset	
		Advanced Color	Color Correction Red	
			Color Correction Green	
			Color Correction Blue	
			Color Correction Cyan	
			Color Correction Magenta	
			Color Correction Yellow	
			Color Correction White	
			Color Space	
			Wall Color	
		Lens Setting	Focus	
			Zoom	
			Shift	
			Save Lens Shift Memory	

IMAGE	Advanced Image	3D Setup	Apply Lens Shift Memory	
			Clear Lens Shift Memory	
			Lens Lock	
			Lens Shift Calibration	
		Dynamic Range	3D Mode	
			3D Format	
			3D Sync Invert	
		Dynamic Contrast	HDR	
			HDR Brightness	
			Dynamic Black	
	Other	General	Extreme Black	
			Color Mode	
			Brightness	
			Contrast	
			Saturation	
			Hue	
			Sharpness	
			Gamma	
			Color Temperature	
			Color Space	
			Wall Color	
		White Balance	Red Gain	
			Green Gain	
			Blue Gain	
			Red Offset	
			Green Offset	
			Blue Offset	
		Color Correction	Red	
			Green	
			Blue	
			Cyan	
			Magenta	
			Yellow	
			White	
		Reset Image Settings		
DISPLAY	Lens	Lens	Focus	
			Zoom	
			Shift	
		General	Lens Lock	
			Lens Shift Calibration	
		Lens Shift Memory	Save Memory	
			Apply Memory	
			Clear Memory	
		Reset		
	Input Signal Setting	General	Auto Signal	
			Quick Resync	
			Input Signal	

		HDMI	HDMI 1 EDID	
			HDMI 2 EDID	
			HDBaseT EDID	
	Geometric Correction	General	Grid Color	
			Horizontal	
		Keystone	Vertical	
		4-Corner	Top Left Horizontal	
			Top Left Vertical	
			Top Right Horizontal	
			Top Right Vertical	
			Bottom Left Horizontal	
			Bottom Left Vertical	
			Bottom Right Horizontal	
			Bottom Right Vertical	
		Reset		
	Other	General	Freeze Screen	
			Orientation Ceiling	
			Orientation Rear	
			Aspect Ratio	
			Test Pattern	
		Scale	Digital Zoom	
			Image Shift Horizontal	
			Image Shift Vertical	
		Reset Display Settings		
Extended	Schedule	Schedule View	Schedule Mode	→ 106 ページ
			View Today	
			Reset Schedule	
		Monday		
		Tuesdat		
		Wednesday		
		Thursday		
		Friday		
		Saturday		
		Sunday		
	Other	On Screen Display	Menu Position	
			Menu Timer	
			Information Hide	
		Background	Background	
Communication	Network Setup	Ethernet Setting	LAN Interface	
			DHCP	
			IP Address	
			Subnet Mask	
			Gateway	
			DNS 1	
			DNS 2	
		Ethernet Information	MAC Address	
	Email Notification	SMTP Settings	Enable SMTP	

	Control	Trap Configuration	Fan Error	
			Power On/Off	
			Video Loss	
			Laser	
		Reset SMTP		
		General	Crestron	
			PJLink	
			AMX	
			HTTP	
		PJLink	Authentication	
			Change Password	
			PJLink Notification	
		Reset		
	Crestron Connected V2	General	Interface	
			Secure	
			Cert Verify	
			IP Address	
			IPID	
			Port	
			User Name	
			User Password	
			VC-4 Room ID	
			Auto Discovery	
		Device Information	Status	
			Status (XiO Cloud)	
			MAC Address	
			Serial Number	
		XiO Cloud	Reconnect	
	Other	Remote Setup	Remote Code	
			Remote Lock	
			Remote Front Sensor	
			Remote Top Sensor	
			Remote HDBaseT Sensor	
			User 1	
			User 2	
			User 3	
		Baud Rate	Serial Port In	
		Command Format	A or B	
		Reset	Reset Ethernet	
			Reset Communication	
System	Administrator	Administrator	Username	
			Current Password	
			New Password	
			Repeat New Password	

	Date and Time	Date and Time	Clock Mode	→ 105 ページ
			Year	
			Month	
			Day	
			Hour	
			Minute	
			Second	
			NTP Server	
			Update Interval	
			Time Zone	
			Daylight Saving Time	
	Upgrade	Firmware Version	Main Firmware	
		System Upgrade	New Firmware	
	Other	General	Standby Mode	
			High Altitude	
			12V Trigger	
			Keypad LED Settings	
		Light Source Settings	Light Mode	
			Brightness Leve (%)	
		Audio Settings	Audio Mute	
			Volume	
			Audio Output	
		Power Settings	Direct Power On	
			Auto Power On	
			Auto Power Off (min.)	
			Off Timer (min)	
		Security	Enable	
			Timer	
		Reset	Reset System All Settings	
INFORMATION	Information	Projector	Model Name	
			Serial Number	
		Firmware Version	Main Version	
			F-MCU Version	
			A-MCU Version	
			LAN Version	
			Formatter Version	
			HDBaseT Version	
		Ethernet	LAN Interface	
			MAC Address	
			DHCP	
			IP Address	
			Subnet Mask	
			Gateway	
			DNS 1	
			DNS 2	
		Remote Information	Remote Code	

		Control	Crestron	
			PJLink	
			AMX	
			HTTP	
		System Status	Standby Mode	
			Total Projector Hours	
			Light Source Hours	
			Ambient Temp.	
			System Temp.	
		Source Info.	Input Signal	
			Resolution	
			Signal Format	
			Pixel Clock	
			Horz Refresh	
			Vert Refresh	
			Color Space	
Language	Language	Language	Language	

[注意]

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl + F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。
- プロキシサーバーについて
プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

6-3. スケジュール機能を使う

6-3-1. 現在の日付と時刻を設定する

スケジュール機能を使用するには、本機に現在の日付と時刻を設定します。

1. HTTP サーバー画面において「System」→「Date and Time」を選択する。

Date and Time

Save

Date and Time

Clock Mode

Manual

Year

2024

Month

03

Day

21

Hour

10

Minute

52

Second

51

NTP Server

time.google.com

Update Interval

Hourly

Time Zone

UTC+08:00

Daylight Saving Time

☐ Enable DST

2. 現在の日付と時刻を設定する。

下記の Clock Mode の説明をご覧ください。

3. 現在の日付と時刻を設定したら、画面右上の [Save] ボタンをクリックする。

Clock Mode

現在の日付と時刻を手動で設定するか、NTP サーバーを介して自動的に設定するかを選択します。

Manual	日付と時刻を手動で設定します。	
	Year	年（2000 ～ 2037）を設定します。
	Month	月（1 ～ 12）を設定します。
	Day	日（1 ～ 31）を設定します。
	Hour	時（00 ～ 23）を設定します。
	Minute	分（00 ～ 59）を設定します。
	Second	秒（00 ～ 59）を設定します。

Use NTP Server	ネットワーク上の NTP サーバー（インターネット時刻サーバー）と同期して、正しい時刻を取得することができます。	
	NTP Server	以下の NTP サーバーから選択します。 1. time.google.com 2. asia.pool.ntp.org 3. europe.pool.ntp.org 4. north-america.pool.ntp.org
	Update Interval	NTP サーバーの更新間隔を選択します。 1 日おき、または 1 時間おきを選択できます。
	Time Zone	本機を使用する地域と UTC (Universal Time, Coordinated)（協定世界時）との時差を設定します。 • 初期値：+00:00 • 日本国内で使用する場合は「+09:00」と設定してください。
	Daylight Saving Time	夏時間を有効または無効にできます。この項目を有効にすると、タイムゾーンに応じて時間を自動的に調整します。

6-3-2. スケジュールを登録する

1 週間の各曜日ごとに、プロジェクターのイベント（動作）を登録することができます。

1. HTTP サーバー画面において「Extended」→「Schedule」を選択する。

Schedule Save

Schedule View

☐ Schedule Mode

View Today Thursday

Reset Schedule

Reset

Monday	Tuesday	Wednesday
☐ Schedule Enable	☐ Schedule Enable	☐ Schedule Enable
01 --:-- N/A	01 --:-- N/A	01 --:-- N/A
02 --:-- N/A	02 --:-- N/A	02 --:-- N/A

2. イベントを設定する。

下記の Schedule View 以降の説明をご覧ください。

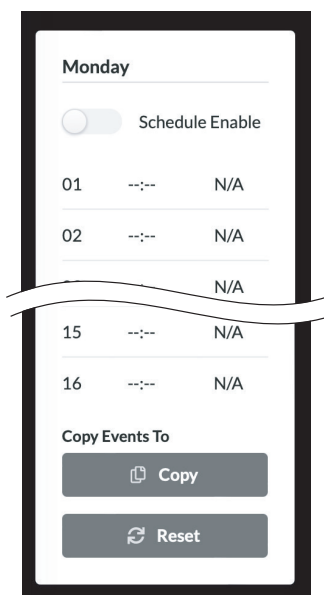
3. イベントを設定したら、画面右上の [Save] ボタンをクリックする。

Schedule View

Schedule Mode	登録したスケジュールの有効／無効を選択します。
View Today	現在の曜日表示します。
Reset Schedule	登録しているスケジュールをすべて初期化します。

Monday – Sunday

1 週間の各曜日のイベントの一覧を表示します。



Schedule Enable

その曜日に設定されているスケジュールの有効／無効を選択します。

Event 01 - 16

1 日あたり 16 件のイベントを設定できます。クリックすると、**Create Schedule** 画面を表示します。設定内容については、次ページをご覧ください。
設定が終わったら、[Apply] ボタンをクリックします。

Create Schedule

Hour: 00 Minute: 00

Function: Power Settings

Event: Power On

No Apply

Create Schedule

その日の新しいイベントを作成します。

Hour	時刻（0 ～ 23）を選択します。
Minute	分（0 ～ 59）を選択します。
Function	機能を以下から選択します。 Power Settings （電源設定の選択） / Input Source （入力端子の選択） / Light Mode （ライトモードの選択） / AV Mute （AV ミュートの有効／無効）
Event	Function で選んだ機能に応じて選択肢が変わります。 下記の説明をご覧ください。

1. Power Settings のとき

Power On	プロジェクターの電源をオンにします。
Standby (Normal Standby)	プロジェクターの電源を切ってスタンバイ状態（ノーマルスタンバイ）にします。
Standby (Network Standby)	プロジェクターの電源を切ってスタンバイ状態（ネットワークスタンバイ）にします。
Standby (Sleep)	プロジェクターの電源を切ってスタンバイ状態（スリープ）にします。

2. Input Source のとき

HDMI 1	プロジェクターの HDMI 1 入力端子に切り替えます。
HDMI 2	プロジェクターの HDMI 2 入力端子に切り替えます。
HDBaseT	プロジェクターの HDBaseT ポートに切り替えます。

3. Light Mode のとき

Normal	ライトモードを「標準」に切り替えます。
Eco.	ライトモードを「エコ」に切り替えます。
Constant Brightness	ライトモードを「輝度一定モード」に切り替えます。
Light Power Adjustment	ライトモードを「電力一定モード」に切り替えます。

4. A/V Mute のとき

A/V Mute On	プロジェクターの映像と音声を一時的に消します。
A/V Mute Off	プロジェクターの AV ミュートを解除し、映像と音声を再開します。

Copy Events To

その日 1 日のスケジュールを他の曜日にコピーします。

Current Day	現在の曜日を表示します。
Copy To	その日のスケジュールをほかの曜日にコピーします。

Reset

その日のスケジュールを初期化します。

7. 本体のお手入れ

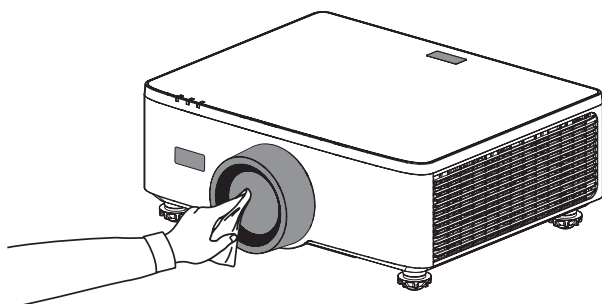
7-1. レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



警告

- レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。
- レンズの清掃は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。レンズの清掃中に電源が入ると、レンズからの強い光が目に入り、視力障害の原因となります。また強い光によって指をやけどするおそれがあります。



7-2. キャビネットの清掃

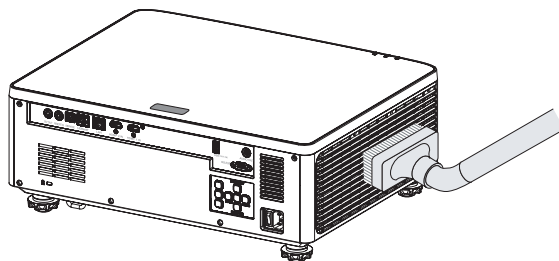
お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口やスピーカー部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。



警告

キャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。



通風口のほこりを吸い取ります。

- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

[注意]

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

8. 付録

8-1. 投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。対応する機種名の投写距離をご覧ください。

フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 1.64 m（60 型の場合）～ 13.35 m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。

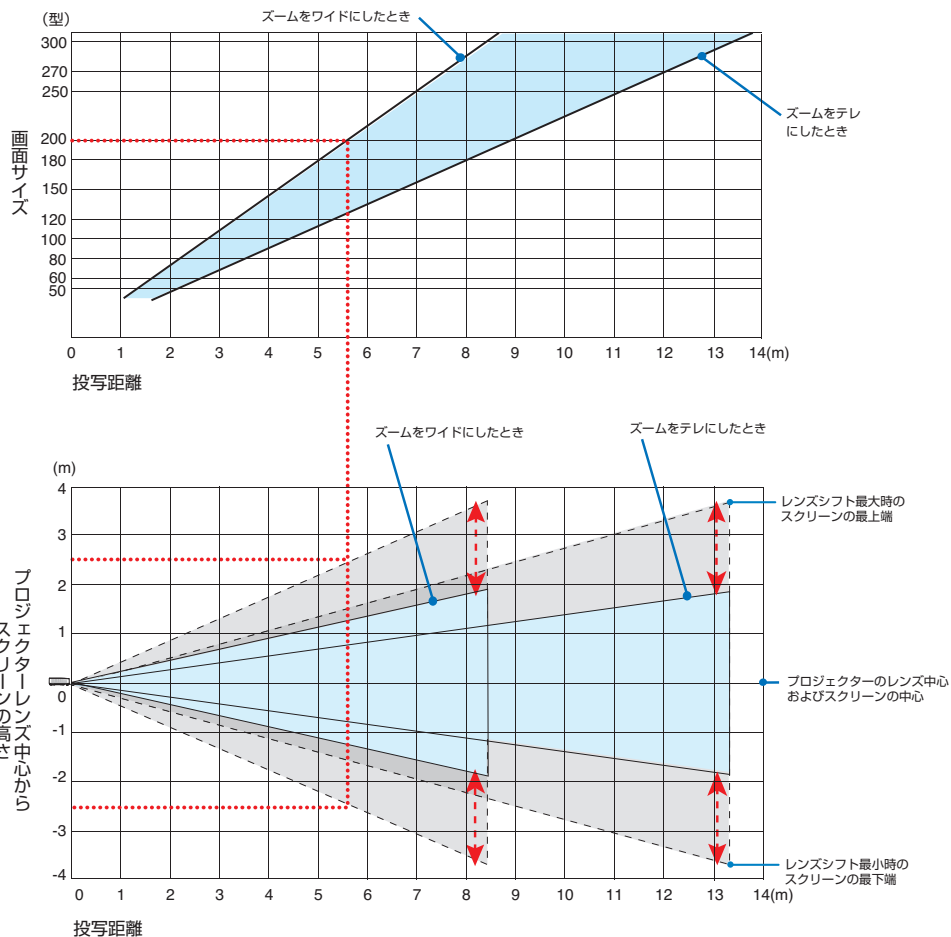
次ページの図の見かた

図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。

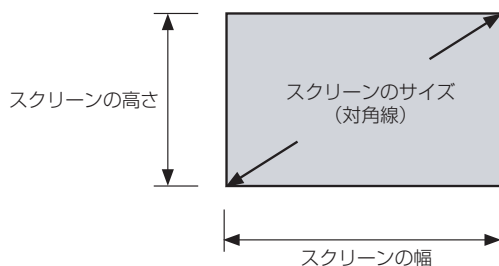
上図より 200 型スクリーンにワイドで投写するときに、5.6 m 付近に設置することになります。

また、その下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端と下端を表しており、200 型スクリーンに投写するときレンズシフトを行うことで、約 +1.37 m の範囲で投写できます。

プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。投写画面はレンズシフトにより上下左右に移動できます。（→ [46 ページ](#)）



スクリーンのサイズおよび寸法表



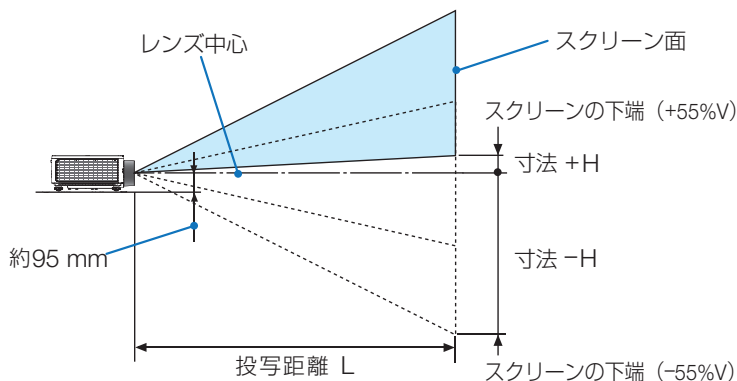
スクリーンサイズ (16 : 9)		スクリーンの幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
(型)	(cm)		
60	152	132.8	74.7
70	178	155.0	87.2
80	203	177.1	99.6
90	229	199.2	112.1
100	254	221.4	124.5
120	305	265.7	149.4
150	381	332.1	186.8
180	457	398.5	224.1
200	508	442.8	249.1
250	635	553.5	311.3
300	762	664.1	373.6

デスクトップに設置する場合の例

以下の図は、プロジェクターをデスクトップで使用する場合の例を示しています。

水平投写位置：レンズの中心から左右均等

垂直投写位置：下表を参照



[参考]

- レンズの中心からスクリーン下端までの高さ（チルトフットを縮めた状態）
- 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

スクリーンサイズ (型)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ワイド時	テレ時	-55%V ~ +55%V
60	1.64	2.66	-78.4 ~ +3.7
70	1.92	3.11	-91.6 ~ +4.4
80	2.21	3.55	-104.6 ~ +5.0
90	2.49	4.00	-117.7 ~ +5.6
100	2.77	4.45	-130.7 ~ +6.2
120	3.33	5.34	-156.9 ~ +7.5
150	4.18	6.68	-196.1 ~ +9.3
180	5.02	8.02	-235.3 ~ +11.2
200	5.59	8.91	-261.6 ~ +12.5
250	7.00	11.14	-326.9 ~ +15.6
300	8.40	13.38	-392.3 ~ +18.7

レンズシフト範囲

本機には、リモコンまたは本体背面の操作ボタンを使って画面位置を調整する電動レンズシフト機能（→ 46 ページ）があります。

次の範囲内のレンズシフトができます。

レンズシフト範囲

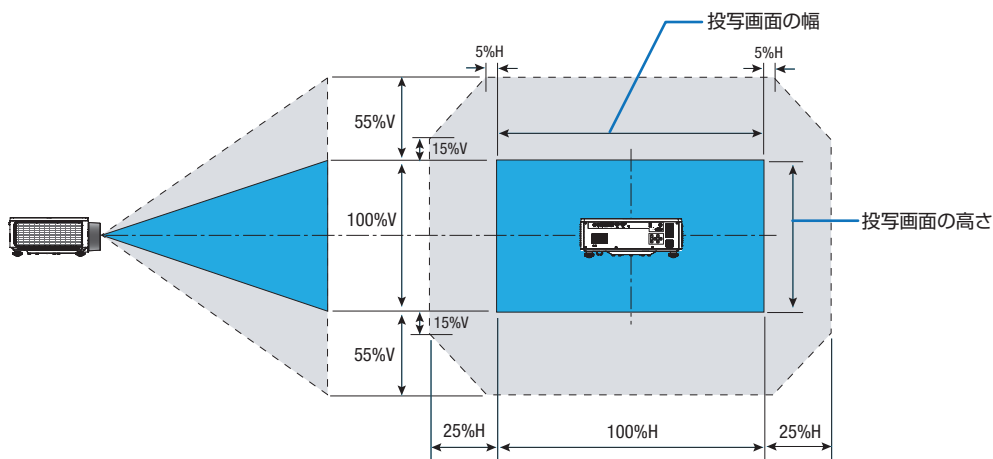
垂直方向	水平方向
± 55%	± 25%

[注意]

- レンズシフトの移動量が下図の範囲を超えている場合、画面の端がぼやけたり、影が出たりすることがあります。

記号の意味：

V は垂直（投写画面の高さ）、H は水平（投写画面の幅）を表し、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。



計算例：150 型で投写している場合

「スクリーンサイズと寸法表」（→ 114 ページ）のスクリーン表により $H=332.1$ cm、 $V=186.8$ cm になります。

垂直方向の調整範囲：上方向 0.55×186.8 cm $\div$ 103 cm、下方向も同様に約 103 cm 投写画面を移動することができます。

水平方向の調整範囲：左方向 0.25×332.1 cm $\div$ 83 cm、右方向も同様に約 83 cm 投写画面を移動することができます。

※簡易計算式のため数 % の誤差があります。

8-2. 対応解像度一覧

信号名	解像度	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 x 480	4:3	60
SVGA	800 x 600	4:3	60
XGA	1024 x 768	4:3	60
WXGA	1280 x 768	15:9	60 (EDID 1.4 のみ対応)
WXGA	1280 x 800	16:10	60
SXGA	1280 x 960	4:3	60
SXGA	1280 x 1024	5:4	60
FWXGA	1360 x 768	16:9	60 (EDID 1.4 のみ対応)
FWXGA	1366 x 768	16:9	60 (EDID 1.4 のみ対応)
WXGA+	1440 x 900	16:10	60
HD+	1600 x 900	16:9	60
UXGA	1600 x 1200	4:3	60
WSXGA+	1680 x 1050	16:10	60
WUXGA	1920 x 1200	16:10	60 (Reduce Blanking)
UWFHD	2560 x 1080	21:9	24/25/30/50/60 (EDID 2.0 のみ対応)
480p	720 x 480	4:3	60
576p	720 x 576	5:4	50
720p	1280 x 720	16:9	50/60/120
1080p	1920 x 1080	16:9	24/25/30/50/60/120/240 (240 Hz は EDID 2.0 のみ対応)
2160p	3840 x 2160	16:9	24/25/30/50/60 (EDID 1.4 は 30 Hz までの信号に対応)
4K2K	4096 x 2160	17:9	24/25/30/50/60 (EDID 1.4 は 24 Hz までの信号に対応)

3D 信号

信号名	解像度	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)	3D フォーマット
720p	1280 x 720	16:9	50/60	Top and Bottom
1080p	1920 x 1080	16:9	24/60	Top and Bottom
1080p	1920 x 1080	16:9	24/50/60	Side by Side (Half)
720p	1280 x 720	16:9	50/60	Frame packing
1080p	1920 x 1080	16:9	24	Frame packing
XGA	1024 x 768	4:3	120	Frame Sequential
720p	1280 x 720	16:9	120	Frame Sequential
1080p	1920 x 1080	16:9	60/120	Frame Sequential
WUXGA	1920 X 1200	16:10	60	Frame Sequential

8-3. 仕様

形名			XP-P721Q-W	XP-P601Q-W		
方式			1 チップ DLP 方式			
表示解像度			4K UHD (3840 × 2160 ドット)			
主 要 部 品 仕 様	DMD パネル	サイズ	0.65 型 (16.51 mm)、アスペクト比 16:9			
		画素数 (*1)	2,073,600 画素 (1920 × 1080 ドット)			
	投写レンズ		F=2.0~2.4 / f=118.72~29.59mm			
			ズーム		電動 (ズーム比 1.6 倍)	
			フォーカス		電動	
			レンズシフト	電動 (水平± 25%、垂直± 55%)		
光源		レーザーダイオード				
明るさ (*2) (*3)			7200 lm / 7400 lm (センター)	6000 lm / 6200 lm (センター)		
画面サイズ (投写距離)			60 ～ 300 型 (1.64 ～ 13.35 m)			
色再現性			10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色)			
走査周波数		水平	15 ～ 140 kHz			
		垂直	24Hz ～ 120Hz, 240Hz			
入 出 力 端 子	HDMI	映像入力	HDMI® タイプ A × 2 (DeepColor、LipSync) HDCP 対応 (*4)			
		音声入力	HDMI® (LPCM サンプリング周波数 32/44.1/48 KHz)			
	HDBaseT	映像入力	RJ-45 × 1、100BASE-TX、Deep Color、LipSync、 HDCP (*4)			
		音声入力	サンプリング周波数 32/44.1/48kHz サンプリングビット 16/20/24bit			
	AUDIO OUT		ステレオミニジャック× 1			
	RS232		D-Sub 9 ピン× 1			
	LAN		RJ-45 × 1、100BASE-TX			
	USB		USB タイプ A × 1、電源供給 5.0 V / 1.5 A			
	SERVICE		USB タイプ B × 1 (サービスマン専用)			
	REMOTE IN		ステレオミニジャック× 1			
	12 V OUT		ステレオミニジャック× 1			
スピーカー			10 W × 2 スピーカー内蔵			
使用環境		動作温度	0 ～ 45 °C (*5)			
		動作湿度	10 ～ 85 % (ただし、結露しないこと)			
		保存温度	－ 10 ～ 60 °C			
		保存湿度	20 ～ 90 % (ただし、結露しないこと)			

使用環境	動作高度	0 ～ 3000 m (1500 ～ 3000 m は、内蔵している気圧センサーによって、自動的に「高地モード」が「オン」に切り替わります。)
電源		AC 100V 50/60Hz
消費電力	動作時	530 W
	スタンバイ時	0.5 W
定格入力電流		6.5 A
外形寸法	突起部含む	486 (幅) × 186 (高) × 432.5 (奥行) mm
	突起部含まず	486 (幅) × 176.5 (高) × 432.5 (奥行) mm
質量		14.7 kg

(*1)：有効画素数は 99.99% です。

(*2)：JIS X6911:2021 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 B に基づいています。

(*3)：カラーモードが「高輝度」、ライトモードが「標準」のときの明るさです。
他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

(*4)：HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは “High-bandwidth Digital Content Protection” の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。

HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機の HDMI 1/2 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1/2 入力端子の映像が表示されないことがあります。

映像：DeepColor (ディープカラー：色深度)：8/10/12 ビット、Lip Sync

音声：LPCM; チャンネル数；2ch、サンプリング周波数：32/44.1/48KHz、

サンプリングビット：16/20/24 ビット

バージョン：HDCP 2.2 に対応

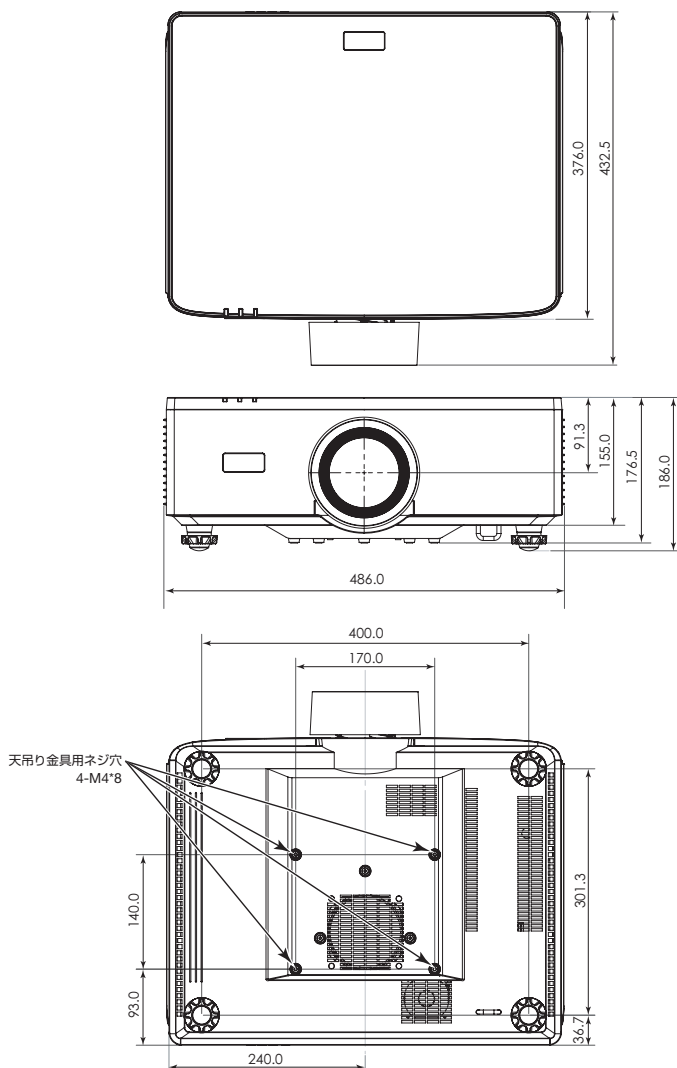
(*5)：以下の動作高度における温度範囲を超えると自動的に光出力が低下します。さらに温度が上がると自動的に電源が切れることがあります。

動作高度	動作温度範囲
0 ～ 762 m	0 ～ 45 ℃
762 ～ 1524 m	0 ～ 35 ℃
1524 ～ 3000 m	0 ～ 30 ℃

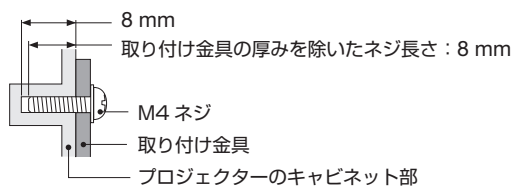
・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

8-4. 外観図

単位：mm

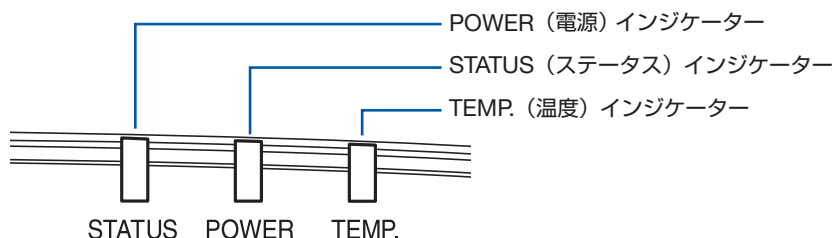


● 使用するネジの仕様



8-5. インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



通常のインジケータ表示

電源	ステータス	温度	本機の状態
 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	電源がオフ状態
 オレンジ色 (短い点滅)	 (消灯)	 (消灯)	ノーマルスタンバイ状態
 オレンジ色 (点灯)	 (消灯)	 (消灯)	ネットワークスタンバイ状態
 オレンジ色 (長い点滅)	 (消灯)	 (消灯)	スリープ状態
 緑色 (点灯)	 (消灯)	 (消灯)	電源オン状態
 赤色 (点滅)	 (消灯)	 (消灯)	ウォーミングアップ
 緑色 (短い点滅)	 (消灯)	 (消灯)	本体の冷却中
 緑色 (点灯)	 赤色 (点滅)	 (消灯)	AV ミュート

異常時のインジケータ表示

電源	ステータス	温度	本機の状態
(その他の状態)	(その他の状態)	 赤色 (短い点滅)	光源の出力を下げています。電源を入れ直してください。
(その他の状態)	(その他の状態)	 赤色 (点灯)	温度エラーを検出しました。吸気口および排気口がふさがれていないか確認してください。電源を切り、しばらく待って本体内部の温度が下がってから電源を入れ直してください。
 赤色 (点灯)	(その他の状態)	 赤色 (点灯)	ハードウェアの異常です。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ修理を依頼してください。
(その他の状態)	(その他の状態)	 赤色 (長い点滅)	
(その他の状態)	(その他の状態)	 赤色 (点滅)	

8-6. 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。
それでもなお異常なときはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	40
	主電源スイッチが○（切）になっていませんか。	27
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	—
	標高約 1500 m 以上の高地で本機を使用していませんか。 本機は気圧センサーを内蔵しており、設置する場所の標高に応じて自動的に「高地モード」が「オン」に切り替わります。高地モードがオンに切り替わると、冷却ファンが高速で回転します。 なお、標高が 1500 m を超えても高地モードがオンに切り替わらない場合は、手動で「高地モード」を「オン」に切り替えてください。高地で本機を使用する場合に高地モードで「オン」を選択していないと、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、光源が消灯後光源の温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	89
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	—
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューの「システム」→「電源設定」→「オートパワーオフ（分）」する時間を設定していませんか。	85
	本機は標高約 3000m まで使用可能ですが、それを超えた場合は、本機を保護するために自動的に電源が切れます。	120

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体またはリモコンの入力切替ボタンを押して一度他の入力に切り替えたあと、再度入力切替ボタンを押して投写する入力を選択してください。	44
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	93
	リモコンの SHUTTER ボタンが押されていませんか。	54
	リモコンの USER1 (AV ミュート) ボタンが押されていませんか。	82
	コンピューター信号の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	117
	オンスクリーンメニューの「ディスプレイ」→「信号」の設定を確認してください。	78
	コンピューターの画面がうまく投写できない場合は、129 ページをご覧ください。	—
	HDMI 1/2 入力端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。 お使いのコンピューターに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。 再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピューター、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバーや最新 OS のインストールは、お客様の責任において行っていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	—
	それでも解決しない場合は、オンスクリーンメニューの「システム」→「リセット」→「すべてのリセット」を実行してみてください。	90
	標高約 1500m 未満であっても高地でを使用している場合、温度プロテクターが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときは高地モードを「オン」に設定してください。	89

このようなとき	確認してください	参照ページ						
映像が歪む	正しく設置されていますか。	45						
	台形状に歪む場合は台形補正をしてください。	57						
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	48						
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	112						
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	115						
映像がぼやける	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか。	116						
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—						
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—						
映像が突然暗くなった	吸気口の周囲を障害物などで塞いでいると、内部温度が高くなり、光出力が低下することがあります。	26, 27						
	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。	—						
	以下の動作高度における温度範囲を超えると自動的に光出力が低下します。さらに温度が上がると自動的に電源が切れることがあります。	120						
	<table><tr><th>動作高度</th><th>動作温度範囲</th></tr><tr><td>0 ~ 762 m</td><td>0 ~ 45 ℃</td></tr><tr><td>762 ~ 1524 m</td><td>0 ~ 35 ℃</td></tr><tr><td>1524 ~ 3000 m</td><td>0 ~ 30 ℃</td></tr></table>		動作高度	動作温度範囲	0 ~ 762 m	0 ~ 45 ℃	762 ~ 1524 m	0 ~ 35 ℃
動作高度	動作温度範囲							
0 ~ 762 m	0 ~ 45 ℃							
762 ~ 1524 m	0 ~ 35 ℃							
1524 ~ 3000 m	0 ~ 30 ℃							
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピューター信号の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	117						
HDMI 入力信号が正常に投写されない	HDMI 信号レベルを正常に判別できていない可能性があります。オンスクリーンメニューの「映像」→「アドバンスカラー」→「カラースペース」の設定を切り替えてみてください。	72						

このようなとき	確認してください	参照ページ
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	36
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	35
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありますか。	36
	リモコンの有効範囲（6 m）を超えていませんか。	36
インジケーターが点滅する	インジケーター表示一覧をご覧ください。	122
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。その後約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	—

コンピューターの画面がうまく投写できない場合

コンピューターを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピューターの起動のタイミング

コンピューターと本機をコンピューターケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピューターを起動してください。特にノートブックコンピューターの場合、接続してからコンピューターを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

●コンピューターの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピューターの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピューター自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

【参考】

- Windows のノートブックコンピューターの場合は、キーと 12 個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効 / 無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

Fn + F5	Dynabook
Fn + F8	DELL

※詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

●ノートブックコンピューターの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピューターの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピューターの制限（コンピューター自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピューターの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプター（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

● MacBook と本機を同時に表示させる場合

MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を本機の表示解像度に設定できないことがあります。

● Mac の投写画面からフォルダーなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

電源関係

- 映像・音声関係

- ☐ 映像が暗い。
 - ☐ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
 - ☐ 映像がぼやける・フォーカスが合わない。
 - ☐ 音が出ない。
 - ☐ 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。
 - ☐ 音量を調整してもなおらない。

その他

- 129

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

型名: ☐ XP-P721Q-W
☐ XP-P601Q-W

製造番号:

購入時期:

ライト使用時間:

エコモード: ☐ ノーマル ☐ エコ

入力信号情報:

水平同期周波数 [kHz]

垂直同期周波数 [Hz]

同期極性 H ☐ (+) ☐ (-)

V ☐ (+) ☐ (-)

同期形態 ☐ セパレート ☐ ミックス

☐ Gシンク

ステータスインジケータの状態

点灯 (オレンジ・緑)

点滅 (回周期)

設置環境

スクリーンサイズ: 型
 タイプ: ☐ ホワイต์マット ☐ ビーズ ☐ 偏光
☐ 広視野角 ☐ ハイコントラスト

投写距離: m

投写方法: ☐ 天吊り ☐ 床置き

電源コンセントは?

☐ 壁からのコンセントを直接利用している。

☐ 電源用テーブルタップを利用している。
 (他、接続機器の数: 台)

☐ 電源ドラム (ロール式) を利用している。
 (他、接続機器の数: 台)

コンピューター

メーカー:

型名:

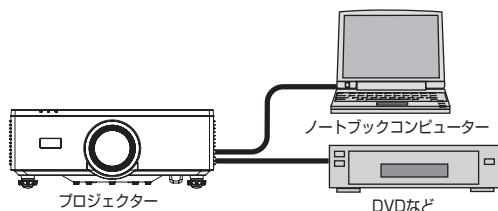
ノートブックコンピューター・デスクトップ体型

解像度:

リフレッシュレート:

ビデオボード:

その他:



信号ケーブル

純正・その他
 (型名: 長さ: m)

分配器
 型名:

スイッチャー
 型名:

アダプター
 型名:

接続機器

ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他

メーカー:

型名:

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

- この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- 保証期間はご購入あげの日から3年間です。
本製品には有寿命部品（光学エンジン、光源ユニットなど）が含まれます。
有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境（温度、湿度など）の条件により異なります。
長時間連続使用など、ご使用状況によっては製品の保証期間内であっても有料での部品交換が必要になりますので、シャープサポートページ（[裏表紙](#)）をご確認ください。

■ 補修用性能部品について

当社は、本製品の補修用性能部品を製造打切後、5年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■ 修理を依頼されるときは（持込修理）

先に「故障かな？と思ったら」（[→ 124 ページ](#)）をお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入あげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

品名	プロジェクター
形名	XP-P721Q-W XP-P601Q-W (取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。)
ご購入あげ日	(年月日)
故障の状況	(できるだけ具体的に)
ご住所	
お名前	
電話番号	

次ページに続く

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様
ご相談窓口にお問い合わせください。



使いかたのご相談など

弊社製品が接続されているシステムの使いかたなどは、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

シャープサポートページ：

<https://jp.sharp/business/lcd-display/support/>

- 問い合わせフォームよりお問い合わせください。
- 「よくあるご質問」もご活用ください。



修理のご相談など

【修理ご相談窓口】

シャープマーケティングジャパン株式会社



0570-00-5008（・全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。）
（・携帯電話からもご利用いただけます。）

受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

■ IP 電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は … **06-6794-9676**

■ 沖縄地区の方は … 沖縄シャープ電機株式会社 **098-861-0866**

受付時間 月曜～金曜：9:00～17:00（土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

● 電話番号・受付時間などは変わることがあります。（2024.3）

シャープ株式会社

本 社 〒 590-8522 大阪府堺市堺区匠町 1 番地